

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年3月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(白糸線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	A	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(雷山線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	A	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	A	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(井原山線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	評価の指標には、路線別の収支率が用いられている。利用者数の増加を続ける九大線と過疎化を続ける中山間地路線を広くカバーしているため、運行地域に応じて目標を細かく設定し、また実績も見てもかけ離れておらず、系統の特徴を考慮した目標設定が適切に行われていると思われる。今後の「バス利用促進協議会」を含め、地域ニーズにかかる指標も含まれると、より具体的な評価ができるものと期待される。	
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(川原線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生の通学利用を取り込むためのバスルートの変更を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(前原今宿線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	A	沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(九大線波多江経由)	九州大学との共同研究による、九大線のダイヤ最適化を行い、利用者増につながった。	A	A	九大の完全移転を見込み、増便や車両の大型化による輸送力の強化を行い、収支改善を目指す。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(九大線泊・油比経由)	九州大学との共同研究による、九大線のダイヤ最適化を行い、利用者増につながった。	A	A	九大の完全移転を見込み、増便や車両の大型化による輸送力の強化を行い、収支改善を目指す。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(初深江線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	A	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(市街地循環線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	B	沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区經由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	目標4,500人に対し3,758人。(達成率83.5%) 7月に発生した豪雨災害の影響によるものが大きく評価できない。	路線毎に沿線コミュニティ組織と事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。	協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されること期待される。	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹經由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	目標700名に対し282人。(達成率40.3%) 7月に発生した豪雨災害の影響によるものが大きく評価できない。	・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。 地域の実情に合わせた取組を強化する。(平成27年度からの実施事業である出前講座等) ・運行様態の改善の検討(運行コース、時間帯、便数、運行日等の改善)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹經由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	目標40名に対し19人。(達成率47.5%) 7月に発生した豪雨災害の影響によるものが大きく評価できない。	・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報、計画推進事業を活用したパンフレット等) ・車から公共交通への利用を促す取り組み(モビリティマネジメント)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	A	・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編、目標の再設定の必要がある。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A		目標1,600名に対し1,124人。(達成率70.3%) 7月に発生した豪雨災害の影響によるものが大きく評価できない。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 長洲線	○運行区間 大福地区～金川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A		目標11,300名に対し9,397人。(達成率83.2%) 7月に発生した豪雨災害の影響によるものが大きく評価できない。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 美奈宜の杜線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の 杜地区～甘木市街 地	利用者増に向けた、沿線コ ミュニティへの定期的な利用 状況の報告及び広報活動、 また利用者の種別、ニーズ を把握する為にアンケート調 査を行った。	A	A			
大牟田市バス交通対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地 線 黒崎団地系統 西鉄バス大牟田営 業所～黒崎団地	・関係者の分担のもと、利用 促進を行った。 (自治体) 多くの市民に周知するため、 市報掲載、地図情報システ ム(おおむた地図ナビ)による 周知を行った。 (自治体・交通事業者) 協働によりバス教室や商業 施設でのチラシ配布を実施 した。 (交通事業者)	A	A	今後は、把握したデータを基 に適切な目標設定に努め るとともに、利用促進に向けた 活動(公共交通マップ作成、 モビリティマネジメントの実 施、乗り方教室や出前講座 の開催)の実施や情報提供 (周辺市町との流動が多い 施設での公共交通利用促進 案内)の充実を図る。	評価の指標には収支率が用 いられている。 乗降客数が大きく伸びた影 響により収支率が上がった ものであり、取組みの成果 があらわれたように受け止め られ、非常に高く評価でき る。 今後の方針にある取組みを 指数に含めると、今後より具 体的に評価ができるものと 期待される。	
大牟田市バス交通対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地 線 黒崎団地系統 大牟田駅～黒崎団 地	利用者の目線に立った取組 みとして、通過時刻表配布、 路線沿線へのポスティング を行った。	A	A			
大牟田市バス交通対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地 線 黒崎団地系統 新栄町～黒崎団地	・実態に合った数値目標とす るため、アンケート調査や移 動状況(人口分布、高齢化 率、鉄道とバスの接続状 況、乗降状況、目的別移動 状況)を整理し、傾向を把握 した。	A	A			
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和みなみ線	大和みなみ地域の 運行	運行開始より徐々に利用者 は増加傾向にあるが、目標 値には及ばないため前回と 同じ目標値とした。	A	A	利用者は増加しているが、1 便あたり120分以上かかる ルートとなっている。平成29 年度に地域公共交通網形成 計画を策定し、平成30年10 月に利便性の向上や利用促 進を目指した系統の見直し を行う。	評価の指標には、便当たりの 利用人員数が用いられて いる。これが顕著に伸びて いることは非常に高く評価で きる。 運行時間にかかる課題に関 して今後の見直しの内容に 期待されるとともに、これが 指数に含められるとより具 体的に評価が出来るものと 期待される。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和きた線	大和きた地域の運 行	運行開始より徐々に利用者 は増加傾向であり昨年度は 目標を達成したため、今年 度はワンランク高い目標を 設定した。	A	A	利用者は増加しているが、1 便あたり120分以上かかる ルートとなっている。平成29 年度に地域公共交通網形成 計画を策定し、平成30年10 月に利便性の向上や利用促 進を目指した系統の見直し を行う。	評価の指標には、便当たりの 利用人員数が用いられて いる。 認知度を課題に上げている ことから、この点を指数に含 められると、今後より具体的 に評価ができるものと期待さ れる。	
柳川市地域公共交通協議会	三橋地域の運行	三橋地域の運行	利用者が伸び悩んでおり、 昨年度は目標値には及ばな かったが、増加の兆しが見 られたため前回と同じ目標 値とした。	A	B	平成29年度に地域公共交 通網形成計画を策定し、平 成30年10月に利便性の向 上や利用促進を目指した系 統の見直しを行う。また、広 報等周知にも取り組む。	評価の指標には、便当たりの 利用人員数が用いられて いる。 認知度を課題に上げている ことから、この点を指数に含 められると、今後より具体的 に評価ができるものと期待さ れる。	
久山町地域公共交通活性化協議会	<平成28年10月～ 平成29年3月> 西鉄バス宗像(株) レスポアル～(久 原循環)～レスポ アル～(山田循 環)～レスポアル <平成29年4月～ 平成29年9月> 協和タクシー(株) レスポアル～(久 原循環)～レスポ アル～(山田循 環)～レスポアル	<久原循環> レスポアル～上 久原～東久原～役 場～下久原～レス ポアルの運行 <山田循環> レスポアル～上 山田南～猪野～草 場～大谷～下山田 ～古賀橋トリアス 前～上山田南～レ スポアルの運行	イコバスの利用状況につ いては、平日・土日祝とも に利用が少しずつ増加傾向 にある。しかし、さらなる利 用者の増加を図るため、ダイ ヤやルートの見直しなど、き め細かな利用促進策に取 組む必要がある。 また、満足度については、高 い数字をいただいているの で、引き続きその状態を維 持できるように努める。	A	B	・イコバスについては、1周 にかかる時間が長いので、 今後、町内の宅地開発・幼 稚園の統合等に対応して2 台体制を検討し、山田先回 りや久原先回りにルートを 分ける。(H29年11月～2台 体制に移行) ・行きのダイヤは良いが帰 りが良くないという意見も あり、ダイヤの見直し等を 検討する。 JR九州バス、西鉄27Bの フィーダーとしてのイコバ スの機能向上を含めた町内 交通体系の再検討を行う。	評価の指標には、乗降客数 と利用者満足度が用いら れている。 土日の実績により評価がB とされているものの、その 他では高い水準となっており 、十分に評価できる結果 であると思われる。 利用者ニーズに対応すべく 見直しも行われる予定で あり、その成果も期待され る。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	倉坂線(古門栄町〜くらじの郷〜鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った	A	B	平成30年度に公共交通網形成計画を作成し、中学生と一般利用者双方のニーズに合った持続可能で充実した交通体系の構築を図る	評価の指標には、路線別の収支率が用いられている。利用者数が減少しているためBと評価されているが、運行ルートを変えずに交通空白地の解消を図った点は高く評価できる取組みと考えられる。今後網形成計画により地域全体の交通網の中での評価もより有効であることから、カバー率や交通空白地率等、複数の指標により評価することも有効。今後の計画が期待される。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	泉水線(グローバルアリーナ〜くらじの郷〜鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った	A	B	平成30年度に公共交通網形成計画を作成し、中学生と一般利用者双方のニーズに合った持続可能で充実した交通体系の構築を図る		
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線(長谷観音〜鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った	A	B	平成30年度に公共交通網形成計画を作成し、中学生と一般利用者双方のニーズに合った持続可能で充実した交通体系の構築を図る。乗合率を高めるための手法を検討する		
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上木月線(古門〜くらじの郷)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。また交通空白地帯となっている地域に乗降場所を2箇所設置した	A	B	平成30年度に公共交通網形成計画を作成し、中学生と一般利用者双方のニーズに合った持続可能で充実した交通体系の構築を図る。乗合率を高めるための手法を検討する		
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	通勤かわせみ	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、「かわせみ」バスと博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、平成29年3月4日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、「かわせみ」バスダイヤを改正した。	A	C	「かわせみ」バスと博多南線のダイヤの接続強化により平成29年4月1日の「かわせみ」バスダイヤ改正後も利用者数は増加傾向であり、西細線は目標を達成することができた。しかしながら、他の路線は目標を達成できていない状況であり、また路線が分りにくいことや、重複した路線があることで効率的な運行ができていない等の改善点がある。今後、H32年度に実施予定の路線見直しに向け、分科会及び協議会委員とともに効果的・効率的な運行体系構築にむけ協議を進めている。	評価の指標には、採算性と利用者数が用いられている。通勤利用が否か、町中心部の運行と交通空白地・山村振興地域の運行で系統の特色に違いがあることから、高齢者の外出回数や満足度等の指標も含めると、より系統の特色に応じた評価を行うことが可能になると期待される。	
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ西細線		A	A			
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ埋金線		A	B			
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南細線		A	C			
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローディ柏の森店への運行	住民への周知活動(利用ガイド全戸配布・広報誌への掲載のほか福祉イベントへの参加等)を行うことで、住民に対する周知については一定の効果は出ている。利用者を含めた住民からの要望等についてはアンケート調査や街頭での聞き取り調査を行い、また、地域でのまちづくり協議会や各種団体等からの意見等を反映し、運行改善を行っている。	A	B	①平成30年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者にわかりやすいように作成し、市民の理解、周知に努める。 ②自治会単位の小規模説明会等の開催を重ねることで、市民の理解を得られ、登録者が増加してきた経緯があり、今年度の追加登録者数は昨年度よりも3.6%増加することができた。今後も引き続き、地元説明会、福祉イベント等へ参加し、市民への周知活動の強化に取組み、利用促進を図る。 ③市民要望を反映して、各デマンド運行地区外の近接地に立地している施設への運行を行う等、市民の利用性を高める。 ④平成29年度に策定する第2次飯塚市地域公共交通網形成計画に決定されたコミュニティ交通の利用促進策を進めていく。	評価の指標には、輸送人員数が用いられている。コミュニティバスは、全体としては目標を達成している模様だが、系統毎ではB評価とされているので、系統毎の目標値等、評価方法が注目される。市内中心部と周辺域を結ぶコミュニティバスと、その先のデマンドタクシーでは、系統の特色も異なるため、輸送人員数以外にもカバー率や高齢者等の外出回数等、それぞれの特色を評価できる指標を設定することも有効と考えられる。	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地(敷地内)・トライアル上三緒店への運行		A	B			
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光鎮西地区(八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚市立病院・せき損センター(敷地内)・ミスターマックス花瀬店への運行		A	B			
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・JR桂川駅への運行		A	B			
飯塚市地域公共交通協議会	穂波タクシー(株) 穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅への運行		A	B			
飯塚市地域公共交通協議会	安全タクシー(有) 額田・鯉田地区	額田・鯉田地区内及び筑豊緑地(敷地内)への運行		A	B			
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株) 鎮西地区(主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚市立病院・せき損センター(敷地内)・ミスターマックス飯塚花瀬店への運行	A	B				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点			
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき損センター(敷地内)・イオン穂波店(敷地内)への運行		A	B				
飯塚市地域公共交通協議会	(有)幸袋タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR 鯉田駅・川食鯉田店・ハローディ九工大前店・鯉田病院への運行		A	B				
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	バス車内でのアンケート調査や、バス利用促進のチラシやノベルティの配布をおこなった。	A	B	高齢者や学生の利用者獲得のために、バスの利用促進チラシの配布や、利用環境の向上を行う。			
川崎町地域公共交通会議	川崎町	木城・荒平コースの運行	バス車内でのアンケート調査や、バス利用促進のチラシやノベルティの配布をおこなった。	A	B	高齢者や学生の利用者獲得のために、バスの利用促進チラシの配布や、利用環境の向上を行う。	評価の指標には、利用者数を用いられている。利用者数の減少から評価がBとされている。自家用車を除くとふれあいバスが唯一の交通機関であることから、高齢者の外出回数や認知度等、他の指標も併せて行うとより具体的に取組みが評価できるものと考えられる。		
川崎町地域公共交通会議	川崎町	上真崎・永井コースの運行	バス車内でのアンケート調査や、バス利用促進のチラシやノベルティの配布をおこなった。	A	B	高齢者や学生の利用者獲得のために、バスの利用促進チラシの配布や、利用環境の向上を行う。			
川崎町地域公共交通会議	川崎町	池尻・田原コースの運行	バス車内でのアンケート調査や、バス利用促進のチラシやノベルティの配布をおこなった。	A	B	高齢者や学生の利用者獲得のために、バスの利用促進チラシの配布や、利用環境の向上を行う。			
川崎町地域公共交通会議	川崎町	三井・大峰コースの運行	バス車内でのアンケート調査や、バス利用促進のチラシやノベルティの配布をおこなった。	A	B	高齢者や学生の利用者獲得のために、バスの利用促進チラシの配布や、利用環境の向上を行う。			
岡垣町地域公共交通協議会	西鉄バス宗像株	[2路線11系統運行] 糠塚・元松原循環線 [7系統(内、共同運行2系統)] 戸切循環線 [4系統(内、共同運行1系統)]	【利便性の向上】 ①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定 ②時刻表に、具体的利用例や、書き込み可能なマイ時刻表を掲載。 【利用促進】 ①ギャラリーバスの実施 ②町内小学6年生を対象にバスノベルティ(メモ帳)を配布 ③時刻表に公共交通の経済的メリットを掲載	A	C	地域公共交通網形成計画を基に、更なる利便性の向上、利用者の増加、運行経費の軽減につながるよう、 ①まちづくりや教育、福祉政策と連携した公共交通網の維持、構築 ②運行形態や運行水準の適正化 ③新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進以上3つを基本方針とし、取り組んでいく。		評価の指標には、網形成計画の策定時点である平成27年度の輸送人員数を基準に用いており、計画策定時との比較により評価を行っていることが伺える。昨年度は好調であったことから、今回の落ち込みの理由が注目される。認知度や満足度等の指標も併せて行うと、より具体的に取組みが評価できるものと期待される。	
岡垣町地域公共交通協議会	株西部遠賀交通	[4路線10系統運行] 高陽団地循環線 [5系統] 上畑・上高倉循環線 [2系統] 糠塚・元松原循環線 [2系統(内、共同運行2系統)] 戸切循環線 [1系統(内、共同運行1系統)]	【利便性の向上】 ①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定 ②時刻表に、具体的利用例や、書き込み可能なマイ時刻表を掲載。 【利用促進】 ①ギャラリーバスの実施 ②町内小学6年生を対象にバスノベルティ(メモ帳)を配布 ③時刻表に公共交通の経済的メリットを掲載	A	C	地域公共交通網形成計画を基に、更なる利便性の向上、利用者の増加、運行経費の軽減につながるよう、 ①まちづくりや教育、福祉政策と連携した公共交通網の維持、構築 ②運行形態や運行水準の適正化 ③新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進以上3つを基本方針とし、取り組んでいく。			
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	全5路線のうち、2路線(佐谷～上須恵線、乙植木～須恵線)を交通不便地域の指定を受け確保維持事業を申請	乗降者数前年度100%を確保する ・平成29年10月、ルート及びダイヤ改正 ⇒新規小売店・病院までのルート確保 ・大学と連携した利用調査実施 ⇒新ダイヤ運行後の調査 ・住民の利用促進に向けた情報発信 ⇒継続的なPR活動(広報紙・HP) ・運賃以外の事業収入の確保 ⇒ネーミングライツ2件獲得	A	B	・ダイヤ改正における効果の分析(大学連携によるデータも含む) ・大学と連携した利用調査実施(継続契約予定) ・住民の利用促進に向けた情報発信(継続的なPR活動(広報紙・HP)) ・住民ニーズに即したダイヤ検討の継続	評価の指標には乗降者数を用いられている。交通不便地域を運行する路線であり、より具体的に評価する上では、PR活動の成果である認知度や老人外出回数等も有効な指標と考えられる。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 八女エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。	評価の指標には、月あたりの利用人員数が用いられている。今後の改善点に掲げる取組みについても指標化が可能であれば、それぞれの系統のより具体的な評価が行えると思われる。指標化の可能性も含め、今後の改善点が着実に成果を上げることが期待される。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 白木エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 辺春エリア 堀川バス(株) 辺春エリア(堀川系統)	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)、 (有)川島タクシー、 くろき交通、(有)八女観光バス 旧黒木町エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 矢部エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	星野タクシー(有) 星野エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 上陽エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を整備する。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線 A系統 坂谷～田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者獲得のため、鉄道・バスとのスムーズな接続を考慮したダイヤ編成。チラシ、広報紙による周知など利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	評価の指標には収支率が用いられている。目標達成の原因として、通院や買い物利用者のニーズに合致したかどうかを挙げて今後のPRIによる改善を図ることとしていることから、認知度や満足度等の指標も併せて見ると有効ではないかと思われる。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	現在定着しているバス利用の利用離れを防ぐため、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	現在定着しているバス利用の利用離れを防ぐため、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	現在定着しているバス利用の利用離れを防ぐため、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線A系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	利用者の増加のため、乗りこみ調査等によるニーズの把握。ニーズに合わせたダイヤ等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線B系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	利用者の増加のため、乗りこみ調査等によるニーズの把握。ニーズに合わせたダイヤ等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	利用者の増加のため、乗りこみ調査等によるニーズの把握。ニーズに合わせたダイヤ等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	白鳥工業団地線A系統 後藤寺駅前～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	収支率の改善に向け、利用者の少ない便の運行系統・ダイヤの見直し等を行う。運行しているバスの周知や利用定着に向けチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
遠賀町地域公共交通協議会	遠賀町 田園・松の本快速線	遠賀川駅～松の本～遠賀川駅	<p>前回平成28年度の事業評価において目標値(収支率38%)には、1.8%及びませんでした。実際には、利用者、運賃収入の増加が見られるものの、老朽化した車体の維持費の増加により、運行経費が増大したことによる数値が悪化によると事が大きかったため、利用促進などによる取組みにより成果が評価できる指標を検討し、「前年の利用者数の0.5%増加させる」というのを目標として、利用促進の取組みを実施しつつ、遠賀町地域公共交通網形成計画を策定し、事業を実施してきました。</p>	A	B	<p>少子高齢化社会の中、団地エリアで通勤通学時間帯での利用者の大きな減少が見える中、どのように利用者を確保していくか、今後の課題と考えます。対応としては、①、平成29年8月に策定した遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取組みを計画的に実施していく、②、路線ごとに状況も異なることから、路線ごとに要因の分析を行い、状況に応じた対策を検討していく、③、引続き利用者アンケートなどを通して利用者の声を集めるとともに、地域の方々の意見も伺う機会を設ける事を通じて、遠賀町コミュニティバスが、地域の方々にとって、身近で、利用しやすい公衆手段となるように事業を実施していきたいと考えます。</p>	<p>評価の指標には、前年の利用者数の0.5%増が用いられている。網形成計画に則した運行でもあることから、他交通機関との結節もカバー率等、他の指標も併せて見ると、より多面的な系統の評価が行えるものと期待される。</p>	
遠賀町地域公共交通協議会	遠賀町 虫生津・上別府快速線	遠賀川駅～蓮角～遠賀川駅		A	B			
遠賀町地域公共交通協議会	遠賀町 田園・松の本線	遠賀川駅～松の本～遠賀川駅		A	B			
遠賀町地域公共交通協議会	遠賀町 虫生津・浅木線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅		A	B			
遠賀町地域公共交通協議会	遠賀町 島津・尾崎線	遠賀川駅～尾崎～遠賀川駅		A	B			
遠賀町地域公共交通協議会	遠賀町 老良・広渡線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅	A	B				
芦屋町地域公共交通協議会	芦屋町地域公共交通協議会	芦屋タウンバスはまゆう・遠賀川駅線	年間利用者数の維持のため、現運行を大幅に変えることなく実施し利用促進に努めた。	A	A	<p>現行の年間利用者数の維持を図りながら、利用促進に努める。芦屋タウンバスにおいて、平成30年3月1日の芦屋中央病院の移転開院に伴い、それに合わせて利用者利便を確保するため運行系統の見直し等に努める。</p>	<p>評価の指標には、年間利用者数が用いられている。目標達成の理由として、交通空白地域への延伸や市営バスとの乗り継ぎ割引を挙げていることから、カバー率や満足度も指数に加えることにより具体的に評価が出来るものと期待される。</p>	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車	上広川地区 中広川地区 下広川地区 の運行	年間全体利用者目標数15,000人に対し年間総利用者数12,827人で85.5%の達成率となった。	A	A	<p>利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。</p>	<p>評価の指標には、年間利用者数が用いられている。デマンド運行による利便性の向上や高齢者等の社会活動参加の増加を評価されていることから、これらにかかる指標化ができることにより具体的に評価できるものと期待される。</p>	
広川町地域公共交通協議会	堀川バス(株)	上広川地区 中広川地区 下広川地区 の運行	年間全体利用者目標数15,000人に対し年間総利用者数12,827人で85.5%の達成率となった。	A	A	<p>利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。</p>	<p>評価の指標には、年間利用者数が用いられている。デマンド運行による利便性の向上や高齢者等の社会活動参加の増加を評価されていることから、これらにかかる指標化ができることにより具体的に評価できるものと期待される。</p>	
直方市地域公共交通協議会	MGタクシー株式会社	上頓野線(直方駅～湯野原～竜王峡)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。	A	B	<p>平成29年度、平成30年度に地域公共交通網形成計画を策定し、利用促進を図るとともに、効率的なバス停の新設やルート変更について検討を行い、コミュニティバスの状況について情報を発信し、周知を図る。</p>		
直方市地域公共交通協議会	筑豊タクシー株式会社	鴨生田団地線(直方駅～鴨生田団地～グァーグァー市場)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、バス停の新設を検討し、利便性の向上を図る予定である。	A	B	<p>平成29年10月よりバス停の新設を行った。利用状況を確認し、更なる利便性の向上策を検討する。平成29年度、平成30年度に地域公共交通網形成計画を策定し、利用促進を図る。</p>		
直方市地域公共交通協議会	MGタクシー株式会社	武谷線(直方駅～溝堀～ゴルフ場)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、利用者増加策として、交通空白地域にバス停の追加を検討している。	A	B	<p>平成29年度、平成30年度に地域公共交通網形成計画を策定し、利用促進を図るとともに、効率的なバス停の新設やルート変更について検討を行い、コミュニティバスの状況について情報を発信し、周知を図る。</p>	<p>評価の指標には、系統毎の利用者数が用いられている。今期の取組みに網形成計画の策定、バス停の新設やルート変更が挙げられていることから、カバー率や満足度等の指標も用いられると、より具体的な評価が可能になると期待される。</p>	
直方市地域公共交通協議会	筑豊タクシー株式会社 直方タクシー有限公司 キングタクシー	植木線(直方駅～下新入～下町公民館)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、バス停の新設を検討し、利便性の向上を図る予定である。	A	B	<p>平成29年10月よりバス停の新設を行った。利用状況を確認し、更なる利便性の向上策を検討する。平成29年度、平成30年度に地域公共交通網形成計画を策定し、利用促進を図る。</p>		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社 有限会社スタータクシー 株式会社日の丸タクシー	感田線(直方駅～東和苑北～湯野原)の運行	市のホームページ及び窓口 に時刻表及び路線図を配架 し、周知を行った。	A	B	平成29年度、平成30年度に 地域公共交通網形成計画を 策定し、利用促進を図ると ともに、効率的なバス停の新 設やルート変更について検 討を行い、コミュニティバス の状況について情報を発信 し、周知を図る。		
久留米市地域公共交通会議	久留米市 地域公共交通会議	北野地域よりみち バス運行 A日程(月・水・金) 19便 B日程(火・木・土) 14便	利用状況や地域からの意見 を基に事業計画の変更を実 施(H29年4月改正)	A	B	地域の意見・要望を反映し た運行ルート・ダイヤの改善 を行うと共に、マイバス意識 を醸成するサポーター制度 を創設する。	評価の指標には、①一日当 たりの利用者数、②幹線バス の利用者数、③利用満足 度の3指標が用いられてい る。 このうち①②の利用者数が 落ち込んでいることからB評 価とされているが、利用満足 度では高い評価を得てい る。 使い方が分からない方も多 くいると分析しており、認知 度についても指標化すると、 より効果的な評価に繋がる ものと期待される。	
久留米市地域公共交通会議	久留米市 地域公共交通会議	城島地域よりみち バス運行 A日程(月・水・土) 18便 B日程(火・木・金) 19便	利用状況や地域からの意見 を基に事業計画の変更を実 施(H29年3月改正)	A	B	地域の意見・要望を反映し た運行ルート・ダイヤの改善 を行うと共に、マイバス意識 を醸成するサポーター制度 を創設する。		
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株 式会社 産業タクシー株式 会社	太賀・朝霧系統	効率的な運送サービスの提 供を行うため、中間南校区 全世帯にアンケート調査を 実施し、利用者及び利用し ていない方のニーズの把握 を行った。	A	C	アンケート調査の結果を基 に座談会を開催し、住民 ニーズの把握に努め、効率 的な運行となるよう計画の 見直しに取組む。また、平成 29年10月から商業施設に設 置する停留所の周知を行 う。		
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶき タクシー	通谷・桜台系統	効率的な運送サービスの提 供を行うため、中間南校区 全世帯にアンケート調査を 実施し、利用者及び利用し ていない方のニーズの把握 を行った。	A	C	アンケート調査の結果を基 に座談会を開催し、住民 ニーズの把握に努め、効率 的な運行となるよう計画の 見直しに取組む。また、平成 29年10月から商業施設に設 置する停留所の周知を行 う。	評価の指標には、利用者数 及び収支率が用いられてい る。 目標に対して実績が大きく 下回わり低い評価となっ ていることから、設定目標自体 の検討も考えられる。 また、今後の方針に挙げる ニーズの把握、利用する可 能性がある方への周知度等 についても指標化できると、 より効果的に評価ができる ものと期待される。	
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶき タクシー	垣生・下大隈系統	平成28年10月から校区の大 部分が交通空白地であった 底井野校区の日常生活の 移動手段を確保するため、 予約制による乗合タクシー を導入した。	A	B	底井野校区全世帯を対象に アンケート調査を実施し、効 率的な運送サービスが提供 できるよう住民ニーズの把 握を行う。		
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株 式会社	砂山・底井野系統	平成28年10月から校区の大 部分が交通空白地であった 底井野校区の日常生活の 移動手段を確保するため、 予約制による乗合タクシー を導入した。	A	B	底井野校区全世帯を対象に アンケート調査を実施し、効 率的な運送サービスが提供 できるよう住民ニーズの把 握を行う。		
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 弥生が丘循環線	鳥栖駅前～弥生が 丘駅～鳥栖駅前	利用促進のため、バスマッ プの配布及びバスの日イベ ント等を実施し、運行の基礎 的な情報の提供(ルート及 びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に 向けた、沿線住民等への運 行の基礎的な情報の提供 (ルート及びダイヤなど)を 行っていく必要がある。		
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	(株)鳥栖構内タク シー 鳥栖地区循環線	フレスポ鳥栖～鳥 栖まちづくり推進セ ンター南～フレスポ 鳥栖	利用促進のため、バスマッ プの配布及びバスの日イベ ント等を実施し、運行の基礎 的な情報の提供(ルート及 びダイヤなど)に努めた。	A	B	今後も引き続き利用促進に 向けた、沿線住民等への運 行の基礎的な情報の提供 (ルート及びダイヤなど)を 行っていく必要がある。	評価の指標には、路線ごと の利用者数が用いられてい る。	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	(株)鳥栖構内タク シー 田代地区循環線	フレスポ鳥栖～くす り博物館～フレス ポ鳥栖	利用促進のため、バスマッ プの配布及びバスの日イベ ント等を実施し、運行の基礎 的な情報の提供(ルート及 びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に 向けた、沿線住民等への運 行の基礎的な情報の提供 (ルート及びダイヤなど)を 行っていく必要がある。	今後の改善点として情報提 供を掲げていることから、認 知度にかかる指標も併せて 行うと、より具体的に評価で きるものと期待される。	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	久留米西鉄タク シー(株) 基里地区循環線	フレスポ鳥栖～日 恵寺公民館～フレ スポ鳥栖	利用促進のため、バスマッ プの配布及びバスの日イベ ント等を実施し、運行の基礎 的な情報の提供(ルート及 びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に 向けた、沿線住民等への運 行の基礎的な情報の提供 (ルート及びダイヤなど)を 行っていく必要がある。		
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	久留米西鉄タク シー(株) 旭地区循環線	マックスパリュ鳥栖 村田店～下野公民 館～マックスパリュ 鳥栖村田店	利用促進のため、バスマッ プの配布及びバスの日イベ ント等を実施し、運行の基礎 的な情報の提供(ルート及 びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に 向けた、沿線住民等への運 行の基礎的な情報の提供 (ルート及びダイヤなど)を 行っていく必要がある。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー(株) 春日線・大野原線	(春日線)大野～嬉野医療センター (大野原線)平重～体育館前	利用者の99%を占める「吉田地区(春日地区含む)地域コミュニティ組織」及び「轟・大野原地区地域コミュニティ組織」の会議・イベントに出向き、沿線住民の認知度合いを図ると同時に、意見聴取や利用促進に向けた啓発を行った。 また市広報誌やホームページに、乗合タクシーの現状、利用者の声および時刻表等を掲載し、市民や観光客向けにPRを行った。 しかし、「春日線」については利用者がH28比で436人減少し、「大野原線」については、H28比で80人減少した。 今後も、地道な啓発活動等を行い理解を深め積極的な利用促進を図りたい。	A	B	(春日線) H28年度までは利用状況・収支状況とも増加傾向にあったが、H29年度においては減少することとなった。要因としては、常連利用者の減少がある。 (大野原線) 近年、利用状況・収支状況とも前年に引き続き厳しい状態が続いており、結果としては、改善には至っていない。また、起点の平重からの利用者がいる為、収支率を改善するという観点だけでは、路線短縮も容易ではない。今後は系統変更も視野に入れながら検討を図っていききたい。 (全体) 吉田地区(春日地区含む)および大野原地区、また轟地区の地域コミュニティ組織と一体となった利用促進を図ると同時に、広報誌やホームページ等を通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。	評価の指標には、路線別1人あたりの運行コスト及び利用者数が用いられている。利用者が減ったことにより一人あたりの運行コストの悪化につながったと理由付けている。 今後も利用促進にかかるPRを継続することとしていることから、認知度合いについても指標化すると、より具体的に評価できるものと期待される。	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 晴田線 (小城市巡回バス)	小城市の晴田地区内における巡回バスの運行	・市民からの要望が多かった箇所に新しくバス停留所を設置した。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 岩松線 (小城市巡回バス)	小城市の岩松地区内における巡回バスの運行	・巡回バス時刻表の全戸配布及び出前講座等を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 三里線 (小城市巡回バス)	小城市の三里地区内における巡回バスの運行		A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 北回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城市の一部における巡回バスの運行	・巡回バス時刻表の全戸配布及び出前講座等を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A	利用者へのアンケートを引き続き実施し、利用者の生の声を聴き、より利便性を高めていくことはもちろんのこと、今は利用していないが、将来的に利用するかもしれない潜在的な利用者の意見を拾い上げ(アンケートの実施)を行い、現在利用していない人がなぜ利用していないかなども総合的に考え、地域のニーズに応じた最適な運行形態やコース、時間設定等を検討し、市民に愛されるバスを目指す。		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 南回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行		A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 勝・柿樋瀬線 (小城市巡回バス)	小城市の勝・柿樋瀬地区における巡回バスの運行		A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 砥川線 (小城市巡回バス)	小城市の砥川地区における巡回バスの運行	・巡回バス時刻表の全戸配布及び出前講座等を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 天満町・芦刈町線 (小城市巡回バス)	小城市の天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行		A	A	さらには、特に利用者が少ない路線(「南回りコース」三日月町巡回バス)について、各種会合での説明や出前講座など幅広い広報活動に取り組み、利用促進を図っていく。	評価の指標には、運行路線、運行時刻、料金に関する利用者の満足度が用いられている。 一方で、運行にかかる自治体の負担額は年々増加しており、利用状況等、他の指標も併せて行うと、より具体的に評価できるものと期待される。	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 広域線 (広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行	・循環バス時刻表の全戸配布及び出前講座等を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市タクシー(株) あしま～る線 (芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行	・時刻表の全戸配布及び出前講座等を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) やまびこ線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	・時刻表の全戸配布を行い、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 神埼コース	(1)神埼コース 神埼駅を起終点とし協和町等を経由する 54.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	巡回バス全体の1運行当たりの利用者数は前回の2.24人から2.6人と増加したが、コースによっては利用人数自体が少ない系統もあるため、これまで利用しなかった方へのアンケートや情報の周知及び時刻、経路の再検討など関係機関と連携を図りながら利便性の向上に努める。		
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 千代田コース	(1)千代田コース 神埼駅を起終点とし仲田町バス停等を経由する 38.3km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	巡回バス全体の1運行当たりの利用者数は前回の2.24人から2.6人と増加したが、コースによっては利用人数自体が少ない系統もあるため、これまで利用しなかった方へのアンケートや情報の周知及び時刻、経路の再検討など関係機関と連携を図りながら利便性の向上に努める。	評価の指標には、運行路線、運行時間、料金にかかる路線ごとの満足度と、1運行あたりの利用人数が用いられている。満足度の増加理由に路線の見直しが行われていて、これが利用人数の増加に繋がっていることは非常に高く評価できる。今後の取組みの継続が期待される。	
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 迎島～神埼駅	(1)迎島～神埼駅 迎島～神埼駅を起終点とし詫田バス停等を経由する 20.4km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	巡回バス全体の1運行当たりの利用者数は前回の2.24人から2.6人と増加したが、コースによっては利用人数自体が少ない系統もあるため、これまで利用しなかった方へのアンケートや情報の周知及び時刻、経路の再検討など関係機関と連携を図りながら利便性の向上に努める。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株):市内循環バス	循環バスの運行	市報などによる周知活動の強化に努め、利用者の声・要望等を把握する為、利用者アンケートを実施した。	A	B	現在の路線・時刻から利用が見込める路線・時刻に再編を行い、新たな利用者の発掘を行うとともに、乗り継ぎなどの改善を行うことで、運行地域以外の方も利用出来るように改善を行うことで、引き続き2.0人/便を目標とする。		評価の指標には、1便あたりの利用者数が用いられている。補助要件に照らして見ると、早急に目標を達成する取組みが求められる。路線自体のあり方を含め、抜本的な評価が期待される。
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー:高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	市報などによる周知活動の強化に努め、利用者の声・要望等を把握する為、利用者アンケートを実施した。	A	B	現在の路線から利用が見込める近隣地域も通過するように路線を再編し、新たな利用者の発掘するとともに、利便性向上のため時刻などの見直しや現在一部で実施しているフリー降車について全線で可能とするなどの改善を行うことで、引き続き1.0人/便を目標とする。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	西鉄バス佐賀(株)	<p>〈みやき中央線〉 大島病院～斎藤整形外科の運行 〈三根東線〉 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行 〈中原線〉 大島病院～板部～香田～大島病院の循環運行 〈三根西線〉 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の運行 〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行</p>	新たなバス停の設置を行い、地域の要望に沿ったものに改善し、利便性の向上を図った。	A	B	<p>町の主要施設を結びみやき中央線では利用者の伸びが大きい。しかし、各路線で見ると、みやき中央線は14.2%増、三根東線が3%増、中原線が12.2%増、三根西線が2%減、北茂安線が2%減となっている。三根西線、北茂安線については、更なる利用促進が必要であるため、運行データ等の精査を行い、今後の利用促進につなげる。</p> <p>また、バスの情報伝達の確立ができていない要因として、時刻表を町内に全戸配布を行ったのが、平成25年であり、その後時刻表について、改訂版の作成を行っておらず、十分な情報伝達ができなかったためであると考え。今後、情報伝達の手段として、時刻表を最新版に改訂し、町のホームページ等で時刻表・路線図等を掲載することが、必要である。</p>	評価の指標には、1日の平均利用者数と、運行サービス及びバス運行情報にかかる利用者の満足度が用いられている。 改善点に掲げる今後の取組みに期待される。	
伊万里市民と考える地域交通会議	伊万里市(西肥自動車(株)へ運行委託)	<p>●バス名 いまりんバス郊外線 ●系統名 牧島～立花線 脇田～古賀線 屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(コース)週2日、1日4回(循環)運行</p>	<p>・利用促進を図るため、バスの乗り方教室を開催した。</p> <p>・平成29年4月より、運転免許返納者を対象とした優遇措置を開始し、利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・平成29年度の実績を踏まえ、適切な目標値を設定するとともに、目標をクリアするよう利用促進に取組む。 ①1便あたりの利用者目標6名。 ②収支率を8%以上。</p>	評価の指標には、1便あたりの利用者数と路線ごとの収支率が用いられている。利用者の要望を生かした今後の見直しを検討課題に掲げていることから、この点についても指標化できると、より具体的な評価ができるものと期待される。	
伊万里市民と考える地域交通会議	波多津町まちづくり運営協議会	<p>●バス名 波多津ふれあい号 ●系統名 波多津循環線A 波多津循環線B 波多津循環線C ※月～土、1日3回運行 波多津東小下校便 ※登校日、1日1回</p>	・利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	A	<p>・平成28年度の実績を踏まえ、適切な目標値を設定するとともに、目標をクリアするよう利用促進に取組む。 ①1便あたりの利用者目標4名。 ②収支率を10%以上。</p>	評価の指標には、路線ごとの年間の利用者数が用いられている。これが顕著に伸びている路線については高く評価できる。更に改善点に掲げる利用促進策についても指標化できるとより具体的な評価ができるものと期待される。	
佐賀市地域公共交通会議	有限会社松原タクシー	大和町松梅地区におけるデマンドタクシーの運行	自治会を通じて「べんりカー松梅号だより」を全戸配布し、利用を呼びかけた。また、シルバーバス継続購入を呼びかけた。	A	A	利用者が毎年順調に増加しているため、今後も利用促進を呼びかけながら、利用実績を注視する。		
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	富士町におけるコミュニティバスの運行 ※車両減価償却費等国庫補助金を活用して平成29年1月に購入した車両(1台)を用いて運行	平成29年1月に購入した新車の告知にあわせ、ダイヤを紹介する「コミュニティバスだより」を回覧することで、利用を呼びかけた。	A	B	コミュニティバスの認知度をより高めるため、「コミュニティバスだより」を発行して利用を呼びかけ、改善点を探しながら、引き続き目標値の達成を目指す。	評価の指標には、路線ごとの年間の利用者数が用いられている。これが顕著に伸びている路線については高く評価できる。更に改善点に掲げる利用促進策についても指標化できるとより具体的な評価ができるものと期待される。	
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	三瀬地区におけるコミュニティバスの運行	利用実績の検証並びに利用者アンケート及び乗り込み調査の結果を基に、地元検討会で協議、決定した新ダイヤによる運行を平成29年2月から始めた。新ダイヤを掲載した「コミュニティバスだより」を三瀬地区に全戸配布し、周知を図った。	A	B	ダイヤ改正以降、高校生利用者が増えている。今後も保護者説明会での説明や「コミュニティバスだより」の発行等により利用を呼びかけ、改善点を探しながら、引き続き目標値の達成を目指す。		
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	東多久立山線「東多久～立山」間の運行(多久市自家用有償運送)	平成28年度から、協議会協議結果に基づき、路線・ダイヤを改正し運行。平成29年度に市のゆるキャララッピングを施した車両に更新、バス利用啓発の一助とした。	A	B	前年度実績に対し、「1日あたり1人」の減。30年度はルート変更を実施予定。利用促進を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	西多久納所線「西多久～納所」間の運行 車両減価償却費等 国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	平成28年度から、協議会協議結果に基づき、路線・ダイヤを改正し運行。さらに、平成29年度から利用者要望等によるJR駅への乗り入れ実施。年度終盤に市のゆるキャララッピングを施した車両更新による利用啓発、乗車定員拡大を実施。	A	A	前年度実績31.5人(104.89%)に対し、「1日あたり2人」増加。30年度はルート変更を実施予定。さらなる利用促進を図る。	評価の指標には、路線ごとの1日あたりの利用者数が用いられている。これが顕著に伸びている路線については非常に高く評価できる一方、課題としている周知不足に対しては、これを指標化するとより具体的な評価ができるものと期待される。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	南多久岸川線「岸川～南多久」間の運行 (多久市自家用有償運送)	平成28年度から、協議会協議結果に基づき、路線・ダイヤを改正し運行。平成30年度改正に向け運行ルート検討、車両更新に合わせ、市のゆるキャララッピングを施し、りょうた車両への更新検討を実施。	A	B	前年度実績23.7人(78.94%)に対し、「1日あたり1人」増加。30年度はルート変更を実施予定。さらなる利用促進を図る。 また、目標設定を「平成28年度実績から毎年1人増」に変更する。		
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	昭和自動車株式会社	市内全域運行 [対象地区居住者ほか] (多久ふれあいタクシー ： デマンド型)	平成28年度から、協議会協議結果に基づき、運行区域一本化・運行日拡大・利用対象者拡大を実施。 また、「1日あたりの平均利用者目標」を「6人以上」から「2人以上」に変更。	A	B	今年度は目標変更により、達成率「98.08%」となるが、利用者数の伸びは確保できていない。 30年度にさらなる「運行日拡大」を実施し、利便性向上による利用者数増加を図る。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 波戸岬線	呼び～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎系統の運行	再編により日中の時間を減便したが利用人員は再編前と同等を維持しており路線の効率化が図られている。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 加部島線	呼び～呼び大橋～加部島杉村系統の運行	再編により日中の時間を減便したが利用人員は再編前と同等を維持しており路線の効率化が図られている。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼び台場線	呼び～呼びロッジ前～呼び台場みなとプラザ系統の運行	再編により日中の時間を減便したが利用人員は再編前と同等を維持しており路線の効率化が図られている。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(2dayフリー乗車券の販売周知やICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼び・名護屋浜線	呼び～小友・名護屋浜～呼び系統の運行	再編により交通空白地へ乗入れ、また臨港道路を通るようになったことで再編前より利用者は増加している。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼び・名護屋浜線	呼び～呼び台場・名護屋浜～呼び系統の運行	再編により交通空白地へ乗入れ、また臨港道路を通るようになったことで再編前より利用者は増加している。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼び・名護屋浜線	呼び～小友～呼び系統の運行	再編により交通空白地へ乗入れ、また臨港道路を通るようになったが本系統への利用は少ない。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼び・加部島線	呼び～加部島杉村～呼び系統の運行	再編によりこれまでバスが通ることができなかったルート(観光地等)を経由したことにより再編前より利用者は増加している。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(2dayフリー乗車券の販売周知やICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼び・波戸岬線	呼び～名護屋城址～波戸岬国民宿舎系統の運行	再編により名護屋浜地区を経由しなくなったため利用者数は減少している。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(2dayフリー乗車券の販売周知やICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線東コース	唐津駅～シーサイド前～唐津駅系統の運行	再編により様々な個所を経由するために運行本数を減らしたが、再編前と比較し利用者数はほぼ同等であるので、運行水準の適正化が図られた。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけやICカードモカの普及活動、観光客へのバス利用促進策等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線西コース	大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅系統の運行	再編により様々な個所を経由するために運行本数を減らしたが、再編前と比較し利用者数は増加しているため、運行水準の適正化が図られた。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけやICカードモカの普及活動、観光客へのバス利用促進策等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線南コース	大手口～唐津赤十字病院～唐津駅系統の運行	再編実施計画により新たに運行を開始したが、運行開始当初から現在に至るまで利用者数は上昇している。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけやICカードモカの普及活動、観光客へのバス利用促進策等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線南コース (赤十字病院線)	大手口～唐津駅・アルピノ前～唐津赤十字病院系統の運行	再編実施計画により新たに運行を開始したが利用者数はなかなか伸びず何らかの方策が必要。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけやICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。	評価の指標には、路線ごとの収支率が用いられている。持続可能な公共交通を形成するための再編実施計画を実施する中、目標に達成しない路線については、目標設定のあり方ともに、再編実施計画からの評価も期待される。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線	大手口～まいづるCARROT店～大島液化ガス系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。	収支率以外の指標についても併せて用いられると、より具体的な評価ができるものと期待される。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線	大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線	市民グラウンド～百人町～大島液化ガス系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線	大島液化ガス～大手口～唐津東中高前系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 市内線	唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 志気線	市民病院きたはた～志気系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 成淵線	市民病院きたはた～成淵上系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	A	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 星賀線	入野～伊仲・里～星賀系統の運行	調査事業の結果を基に肥前エリアの再編実施を目指し、現在協議中。	A	C	最適な再編実施に向け、地元住民を含めた協議・検討を続けていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 納所線	入野～山口～納所系統の運行	調査事業の結果を基に肥前エリアの再編実施を目指し、現在協議中。	A	C	最適な再編実施に向け、地元住民を含めた協議・検討を続けていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 高串線	入野～古保志気～高串福祉センター前系統の運行	調査事業の結果を基に肥前エリアの再編実施を目指し、現在協議中。	A	C	最適な再編実施に向け、地元住民を含めた協議・検討を続けていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) イオン線	大手口～用尺南～イオン前系統の運行	引き続き利用状況に合わせた時刻設定、ルート設定を検討する。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面においても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	基山駅～けやき台～高島団地～老人憩の家～基山駅系統		A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統		A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)	【目標1 乗降客数】1日の平均利用者数 80人以上	A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金2便(宮浦～園部～中心部～本桜～長野～中心部)	平成28年度実績値1日平均70人。前年度利用者の1.1倍増を目標とする。これに伴う財政負担割合の軽減を図る。	A	B	将来にわたって持続可能な地域公共交通にするため、安定した利用者の確保に向けた利用促進の取組みを継続する。	評価の指標には、コミュニティバス全体の1日平均乗降客数及び乗客満足度が用いられている。次期評価の指標にはこれに「財政負担の状況(事業の収支率、運賃収入、経費、公的資金投入額)」も加わることとしており、目標設定のあり方とともに、今後の評価が期待される。	
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金3便(宮浦～長野～中心部～本桜～園部)	【目標2 乗客の満足度】下記の5つの項目で5段階評価での調査を行い、「良い」「やや良い」と回答が80%以上を目標とする。 I. 運転士マナー II. 定刻運行 III. 運転技術 IV. 時刻表の見易さ V. 運行ルート	A	B	今後、時刻表を更新する際には掲載する情報をシンプルにしていくよう努める。また、各路線の地域別に個別の時刻表を作成し、バス運行ルート等の周知徹底に努める。		
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)		A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～園部～本桜～中心部)		A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土2便(長野～本桜～中心部～園部～宮浦～中心部)		A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土3便(長野～園部～中心部～本桜～宮浦)		A	B			
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)		A	B			
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー(有)肥田の井タクシー	有田町曲川地区における区域運行(共立病院コース)登録者住宅～伊万里有田共立病院等を1日6便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図った。また、ダイヤを見直し、利用者のニーズに合うものへ変更した。	A	C	病院利用者やその家族に対し、広報、周知に取り組み、利用促進を図る。新規利用者の増加のために、運転免許の自主返納をされた方をデマンドタクシー利用者に移行してもらうよう取り組む。		評価の指標には、年間利用者数が用いられている。実績が目標の6割と大きく下回っていることから、目標設定のあり方を含め、より具体的な評価が期待される。
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	吉野ヶ里観光タクシー有限公司	系統名:循環線 運行区間:吉野ヶ里町全域 運行形態:事前登録制、予約制、乗合により、自宅と指定施設間を運行する。デマンド型乗合タクシー。8時台～16時台の1時間に1便(最大1日9便)、予約のあった場合のみ運行。 運行日:平日 運休日:土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)	平成27年度地域公共交通調査事業(計画策定事業)の評価結果(実際の利用者の生の意向を踏まえると共に、まちのあり方等を踏まえた望ましい旅客流動の将来像まで考えて交通網を再編することが望ましい)を踏まえ、アンケート調査で外出の主な目的地となっていた、医療機関・金融機関・商業施設・公共施設を指定施設に加えている。なお、これらの施設については主に町中央部に存在しており、別途コミュニティバスが町中央部を循環している。(コミュニティバスについては生活交通確保維持改善計画の対象外)	A	B	コミュニティバスとデマンド型乗合タクシーの1便あたりの乗車定員の違い及び運行便数の違いを加味していなかったため、適切な数値目標を設定できていなかった。そのため、平成30年度の生活交通確保維持改善計画では、デマンド型乗合タクシーの運行実績をもとに、「交通結節点(東日達原バス停)、JR吉野ヶ里公園駅及び広域路線バス停付近での乗降客数 平成30年度:7人/日以上(平成28年9月から平成29年5月までの平均乗降客数6人/日の120%)」という目標を設定している。 改善策については、主な利用者である高齢者に対する周知方法として、町老人クラブ連合会と連携し、町内各地区の老人クラブの会合時に説明会を開催し、利用者増を図る。	評価の指標には、利用便数及び交通結節点における乗降客数が用いられている。目標設定のあり方を課題と評価しており、周知状況を含め、今後の評価が期待される。	
五島市地域公共交通会議	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統運行	運行事業者が利用者への改善の要望などを聞き取り、渡船待合所に配布用の時刻表及び運行ルートのパンフレットを置き利用促進を図った。	A	B	利用者数拡大を目指し、地域町内会と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。	評価の指標には、1日あたりの利用者数が用いられている。利用促進活動の効果についても評価の指標に含まれると、より具体的な評価ができるものと期待される。	
五島市地域公共交通会議	丸濱産業有限公司 奈留交通有限公司	五島市奈留島内5系統運行	五島市地域公共交通再編実施計画に基づく運行計画の変更のため、奈留地区生活交通検討委員会において住民説明会を実施し、併せて利用促進活動を行った。	A	B	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用者がなかった路線の廃止を含めた見直し及び利用促進活動に取り組む。	評価の指標には、平均運行率が用いられている。利用がない系統があったためBとされていることから、運行計画自体の評価が期待される。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
五島市地域公共交通会議	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行(福江～櫻之浦～観音平線)	-	A	A	車内及び市役所奥浦出張所など主要な施設に運行ルート及び時刻表のパンフレットを配置し、更なる利用促進に取り組む。	評価の指標には、1運行あたりの利用者数が用いられている。利用促進活動の効果についても評価の指標に含まれると、より具体的な評価ができるものと期待される。	
五島市地域公共交通会議	丸濱産業有限会社	五島市奈留島内1系統運行(汐池線)	-	A	B	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用促進活動に取り組む。		
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」では、沿線町内会を通じたPR活動を行い、利用促進に努めた。 また、地域からの要望を受け、現地の調査等しながら、路線延長やダイヤ見直しなど利便性向上に向けた検討作業をおこなった。	A	A	更なる利便性向上のため、「交通対策協議会」を、隔月で開催し、路線やダイヤの状況等を分析・検討している。	評価の指標には、1運行あたりの平均利用者数が用いられている。これが顕著に伸びていることは、非常に高く評価できる。協議会にて分析・検討している内容も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	路線バスの運行(鷹島(阿翁浦線))	協議会や分科会等を通じて、運行事業者や地域住民と定期的な情報交換を行った。	A	B	定期的に利用状況の分析を行う。また、松浦市地域公共交通網形成計画に基づき、昼間帯や休日の利用が少ない時間帯については、路線バスから乗合タクシーへの転換等運行の効率化を検討する。	評価の指標には、路線ごとの収支率が用いられている。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行(阿翁浦線)	協議会や分科会等を通じて、運行事業者や地域住民と定期的な情報交換を行った。	A	B	定期的に利用状況の分析を行うとともに、積極的な広報活動を実施し、利用客の増加に努める。	利用者の増加に向けた利用促進策を予定していることから、これを指標化できるとより具体的な評価が期待される。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行(殿の浦線)	協議会や分科会等を通じて、運行事業者や地域住民と定期的な情報交換を行った。	A	B	定期的に利用状況の分析を行うとともに、積極的な広報活動を実施し、利用客の増加に努める。		
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行(船唐津線)	協議会や分科会等を通じて、運行事業者や地域住民と定期的な情報交換を行った。	A	A	定期的に利用状況の分析を行うとともに、積極的な広報活動を実施し、利用客の増加に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情の把握により、利用促進に努める。	評価の指標には、1往復あたりの利用者数が用いられている。	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 江の浜線	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情の把握により、利用促進に努める。	これが顕著に伸びていることは評価できる一方、目標に対して大きく実績が超えている系統もあることから、目標の設定について適正であるかどうかの視点での検討も考えられる。	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 神之浦線	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情の把握により、利用促進に努める。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 厳原タクシー(有) (有)北厳原タクシー 対州タクシー(有) ホテル対馬線 系統名 稚根・厳原線	稚根～厳原間予約制乗合タクシーの運行	「目標設定を路線バス利用者も含めた数字で考えても良いと思われる。」という点については、路線バスは利用者数・運賃収入ともに増加しているため、路線バスを含めると同様に増加した結果となるが、そのことイコール本路線の評価とはいえないことから、目標については前回の項目と同様とした。	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標には、1便あたりの利用者数と、収支率が用いられている。原因について細かく分析し評価されており、今後の目標設定に反映されることが期待される。	
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 対馬交通(株) 系統名 竹敷線	対馬病院～竹敷間路線バスの運行	新規のため該当なし	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す。	評価に指標には、収支率と1kmあたりの輸送コストが用いられている。原因について細かく評価を行っており、今後の目標設定に反映されることが期待される。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 上県タクシー(株) 系統名 比田勝・五根緒線	比田勝～五根緒間 予約制乗合タクシーの運行	新規のため該当なし	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標には、1便あたりの利用者数と、収支率が用いられている。 原因について細かく分析し評価されており、今後の目標設定に反映されることが期待される。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 今村線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 野岳湖線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 富の原・協和町線(野岳入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	A	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。	評価の指標には、平均乗車密度が用いられている。 利用者のニーズを踏まえた見直しも検討されていることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 富の原・協和町線(黒丸入口)	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 黒木線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	評価の指標には、1便あたりの利用者数が用いられている。 地域のニーズを踏まえた見直しも検討されていることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
長崎市地域公共交通協議会	有限会社 琴海タクシー	琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
島原市地域公共交通協議会	島原鉄道株式会社	本市北部に位置する有明地区を唯一運行している「水分畜産線」の維持・確保を図る	本市の公共交通利用者数は、年々減少傾向であり、広く住民の方に公共交通の現状や必要性について理解を深めていただくために専門の講師を招き、2回講演会を実施した。	A	B	・実際の利用者の声を聞くために、バスに乗り込み聞き取り調査を実施。調査結果を踏まえ利用促進の為に啓発方法を検討する。 ・利用特典の拡充検討を行うなど、マイカー利用からのバス利用への転換を促す取組が必要である。 ・今般、島原鉄道が再生支援をうけ、長崎自動車株が新たなスポンサーとなった。今後は新体制の意向を踏まえながら協議を進めてまいりたい	評価の指標には、系統ごとの平均乗車密度が用いられている。補助要件に照らして見ると、早急に目標を達成する取組みが求められる。路線自体のあり方を含め、抜本的な評価が期待される。	
阿蘇市地域公共交通協議会	(株)りんどうタクシー (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性の向上及び制度の周知のため利用ガイドを配布した。	A	A	事業は適切に実施されており、かつ目標・効果も達成できている。今後も地域住民のための移動手段として利便性の向上を図り、更なる利用者数の増を目指す。	評価の指標には、月平均利用者数が用いられている。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
宇城市地域公共交通協議会	松橋タクシー有限公司	長崎区域～不知火中心市街地の運行	制度周知や現状把握のため、地域の集會等で住民の要望等を聴取したものの、利用者は減少していった。	B	C	囑託員と協議し新たなターゲット層(子育て世代)や片道の利用促進活動を行う。	評価の指標には、1便あたりの利用者数が用いられている。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
宇城市地域公共交通協議会	有限会社小川タクシー	小野部田区域～小川中心市街地の運行	制度周知や現状把握のため、地域の集會等で住民の要望等を聴取した。	A	A	囑託員と周知活動に取り組むとともに、運行計画を見直す必要のある要望が無いか調査し、利用促進を図る。	評価の指標には、収支率が用いられている。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
宇城市地域公共交通協議会	産交バス株式会社	三角産交～三角西港～さんぼー間の運行	世界遺産登録に伴う観光路線として、一部路線変更やバス停の廃止を行い、各ホームページに時刻表を掲示し、利用促進に努め運行維持を図った。	A	B	沿線自治体の上天草市及び運行事業者と連携し、利用者が増加している理由を解析し、今後の運行計画の検討に役立てる。	評価の指標には、収支率が用いられている。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
宇土市地域公共交通協議会	【宇土市ミニバス】 ・宇土北部線 ・網津・緑川線 ・轟南部循環線 ・轟北部循環線 ・花園北部線 ・花園南部線 【宇土市コミュニティバス】 ・循環線外回り ・循環線内回り ※宇土市コミュニティバスにおいて車両減価償却費等国庫補助金を受けている。		目標に比べて利用者数が少ない路線について、ルートの改正やバス停の見直しなどの措置を講じ、運行の効率化を高めた。また、目標を「年間の利用者数」から「一日当たりの利用者数」に変更した方がよいのではないかと助言を受け、平成30年度から目標設定を見直すこととした。	A	B	平成29年度において、まだ目標を達成していないミニバスの路線については、バス停の見直しや路線の統廃合について検討し、平成30年度から実施していくことにしている。その状況を見ながら今後の対応策について再度検討を行う。その他、すでに目標を達成している路線についても、現状に甘んじることなく、利用者の利便性の向上に向けた検討を行っていく。	評価の指標には、平成26年度の輸送人員数の2割増の利用者数が用いられている。これが顕著に達成されている点は非常に高く評価ができる。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
益城町地域公共交通協議会	熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー	福田地区～木山産交バス停・木山上町・惣領の予約型運行(1日4便)	町ホームページに概要を記載したページを作成し、周知を図った。運行再開時には対象地区を中心に当事業の概要を記載したチラシを配布したほか、再開後、対象地区内の応急仮設住宅で事業についてのヒアリングを行った。	A	B	事業再開の周知を継続して行う。また、住まいの再建に係るアンケートを基に一時的な転居者の帰還に関する把握に努める。併せて利用者や地域住民へのヒアリング等を通して、地域の交通ニーズを把握し、事業者との調整を図りながら事業の改善を検討する。	評価の指標には、月平均の利用者数が用いられている。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
益城町地域公共交通協議会	産交バス(株)	①益城役場線 テクノ団地～益城町役場前～木山産交(1日12便) ②広安循環線 テクノ団地～広安団地・古閑入口・広安団地～テクノ団地(1日15便)	役場庁舎の移転に伴い、ダイヤ改正を行った。また、応急仮設住宅入居者の要望により、停留所の新設や整備など、サービス向上に努める取組を行った。	A	A	仮設住宅等からの通勤、通学、通院、買物等の総合的な交通手段を確保する。また、運行ダイヤについては、応急仮設住宅の集約も視野に入れつつ、幹線路線との接続性や利用者の声を考慮し、利便性の向上と経費の節減を図る。	評価の指標には、月平均の利用者数が用いられている。地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
玉名市地域公共交通会議	有限会社岱洋タクシー 玉名タクシー有限公司 有限会社高瀬合同タクシー 有限会社アトム	(1)滑石・岱明地域 (2)大浜・横島地域 ※いずれも予約制乗合タクシー	広報紙等で情報提供の充実を図るとともに、主に補助対象事業者を通じて利用者ニーズ等の把握に努めた。	A	B	引き続き、情報提供の充実を図るとともに、把握したニーズ等を精査し、必要に応じ運行内容の見直し検討を行う。	評価の指標には、玉名市地域公共交通総合連携計画に掲げる公共交通全体の年間利用者数が用いられている。	
玉名市地域公共交通会議	産交バス株式会社	(3)九州看護福祉大学経由玉名駅・新玉名駅線 (4)玉名市街地循環線	広報紙等で情報提供の充実を図るとともに、補助対象事業者及び当該対象事業の主な利用者である九州看護福祉大学と定期的に意見交換を実施し、必要な変更を行った。	A	B	引き続き、定期的な意見交換を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、必要に応じ運行内容の見直し検討を行う。	利用者のニーズを踏まえた見直しも検討されていることから、この点も含め系統ごとの指標化ができると、より具体的な評価が期待される。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	チラシを新たに作成し、住民へ配布するとともに、コミュニティFMを活用し、情報発信を強化した。	A	B	利用者数は増加しているため、引き続き利用実態を把握しながら、運行サービスの拡充や利用方法の周知強化などにより利用者数のさらなる増加を検討する。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	チラシを新たに作成し、住民へ配布するとともに、コミュニティFMを活用し、情報発信を強化した。	A	B	利用者数は増加しているため、引き続き利用実態を把握しながら、運行サービスの拡充や利用方法の周知強化などにより利用者数のさらなる増加を検討する。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	住吉線の運行	広報紙や市ホームページ、コミュニティFM等による住民への情報発信の強化により、利用者の増加を図った。	A	B	利用者数は下げ止まりが見られるものの、沿線には高校があり、潜在的なニーズも見込まれるため、ターゲットを絞った利用促進を検討する。	評価の指標には、全体の年間利用者数と利便性に関する満足度が用いられている。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	助丸線の運行	広報紙や市ホームページ、コミュニティFM等による住民への情報発信の強化により、利用者の増加を図った。	A	B	利用者数は下げ止まりが見られるが、さらなる増加を図るため、自動車運転免許の返納を検討する世代を中心に、公共交通利用への転換を促すための事業を検討する。	利用者のニーズを踏まえた見直しも検討されていることから、この点も含め系統ごとの指標化ができると、より具体的な評価が期待される。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	八幡台線の運行	広報紙や市ホームページ、コミュニティFM等による住民への情報発信の強化により、利用者の増加を図った。	A	B	利用者数は減少傾向であるため、自動車運転免許の返納を検討する世代を中心に、公共交通利用への転換を促すための事業を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄㈱	レターバス	合志市内スーパーやコンビニへのガイドブックの設置、バスの乗り方教室の実施や既存のサービスを行い、新規利用者の掘り起こしを行った。 また、地域のサロンへ出向き出前講座を行った。	A	B	目標値に対し、結果は下回っているため、利用者増加のため、更なる公共交通利便性の向上を図ると共に利用促進に向け周知啓発等を積極的に行う。特に運行時間帯の改善など、利用者目線での改善を図る。 なお、熊本地震後のバスの遅延や、利用者離れ、乗り込み調査等のデータ分析を行いながら、利用目的の把握や、路線バスの廃止に伴う結線の見直し等を行っていききたい。 また、高齢化に伴う合志市の公共交通のあり方についても、市民の要望をふまつつつ推進していききたい。	評価の指標には、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民の満足度、②年間利用者数、③公共交通機関の利用割合、④市民1人あたりの運行委託料の4指標が用いられている。利用者のニーズを踏まえた見直しも検討されていることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄㈱	レターバス(左回り平日1便目)		A	B			
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄㈱	日向・新迫線		A	B			
合志市地域公共交通協議会	㈱相互交通	合生・上生線		A	B			
合志市地域公共交通協議会	(有)キティー交通	合生・御代志線		A	B			
合志市地域公共交通協議会	(有)銀杏交通タクシー	後川辺線		A	B			
合志市地域公共交通協議会	(有)銀杏交通タクシー	後川辺線		A	B			
上天草市地域公共交通会議	産交バス株式会社	三角西港經由 三 角産交・さんばーる 線の運行	幹線交通であるJRあまくさみすみ線等との接続や、地域フィーダー路線であるSunまりんバスとの接続について、利用者ニーズに対応するため、ダイヤの変更を実施した(H29.4~)。	A	B	本システムは、平成27年7月に世界遺産登録された三角西港を經由するルートとなっており、生活交通に加えて観光目的の利用が今後も期待できる。本システムの認知度を向上させるため、宇城市や観光事業者等と協力しながら情報発信を行い、利用者の増加に努める。 また併せて、生活路線としても、シームレスなJR接続の利便性もPRしていく。	評価の指標には、収支率が用いられている。目標に達せられなかったためB評価とされているが、利用者数が顕著に伸びていることは、非常に高く評価できる。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
上天草市地域公共交通会議	産交バス株式会社	治郎田・宮島經由 登立循環線の運行		A	C	本システムは、定額運賃の循環路線であり、その利便性を今後も広報周知を行っていきと、利用者の利用状況等を鑑みながら、幹線バスやその他路線バスとの接続性も検討し、引き続き利便性の向上に努める。	評価の指標には、年間の輸送人員数が用いられている。認知度にかかる検討も行われていることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
上天草市地域公共交通会議	有限会社協和タクシー	維和地区乗合タクシーの運行	利用者アンケートや利用実績集計等を行い、利用状況やニーズについて分析・考察を行った。	A	B	当市乗合タクシーの制度が、該当地区で認知されていることにより、各地区とも利用者数は増加しているものの、1人利用による利用が依然多いため、目標の収支率に到達できなかった。今後も引き続き、運行事業者や利用者が乗合で利用しやすい仕組みや、利便性を損なわない範囲での便数の絞り込み等、関係者と検討し乗合率向上に努める。	評価の指標には、収支率が用いられている。目標に達せられなかったためB評価とされているが、利用者数が顕著に伸びていることは、非常に高く評価できる。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
上天草市地域公共交通会議	有限会社柳タクシー			A	B			
上天草市地域公共交通会議	藤川タクシー			A	B			
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社 水俣駅・葛彩館線	水俣駅前～水俣市役所・渡野～葛彩館	広報誌での利用周知を行った。	A	A	沿線自治会と連携して、利用者増加に向けた取り組みを行っていく。広報誌等での周知を図っていく。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社 水俣駅・大川線	水俣駅前～深川・愛林館前～大川	広報誌での利用周知を行った。	A	A	沿線自治会と連携して、利用者増加に向けた取り組みを行っていく。路線の見直しも含めた検討を行っていく。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社 流合橋經由 招川内・茂道線	招川内～流合橋・水俣駅前～茂道漁港	広報誌での利用周知を行った。	A	C	沿線自治会と連携して、利用者増加に向けた取り組みを行っていく。路線の見直しも含めた検討を行っていく。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社 頭石經由 招川内・茂道線	招川内～頭石・水俣駅前～茂道漁港	広報誌での利用周知を行った。	A	B	沿線自治会と連携して、利用者増加に向けた取り組みを行っていく。路線の見直しも含めた検討を行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社 木臼野経由 水俣市役所・水俣 駅線	水俣市役所～梅 戸・ 木臼野～水俣駅前	広報誌での利用周知を行っ た。	A	C	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。 路線の見直しも含めた検討 を行っていく。	評価の指標には、系統ご との年間利用者数を用いて おり、人口減少を踏まえて利 用者数の減少率を3%以内 に抑制した利用者数として いる。 利用促進にかかる取組みも 計画されていることから、こ の点も指標化できると、よ り具体的な評価が期待され る。	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社 水俣市役所・木臼 野線	水俣市役所～梅 戸・茂川～木臼野 上	広報誌での利用周知を行っ た。	A	A	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。 路線の見直しも含めた検討 を行っていく。		
水俣市地域公共交通会議	合資会社君島タク シー 有限会社水俣タク シー 市木線	市の木～無田・葛 彩館～水俣駅前	広報誌での利用周知を行っ た。	A	A	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。広報誌等での 周知を図っていく。		
水俣市地域公共交通会議	合資会社君島タク シー 有限会社水俣タク シー 寺床・寒川線	寺床～寒川・葛 彩館～水俣駅前	広報誌での利用周知を行っ た。	A	B	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。広報誌等での 周知を図っていく。		
水俣市地域公共交通会議	合資会社君島タク シー 有限会社水俣タク シー 小津奈木線	合畑入口～小野川 内～水俣駅前	広報誌での利用周知を行っ た。	A	C	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。広報誌等での 周知を図っていく。		
水俣市地域公共交通会議	合資会社君島タク シー 有限会社水俣タク シー 鬼岳線	鬼岳上～水俣市役 所～水俣駅前	広報誌での利用周知を行っ た。	A	A	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。広報誌等での 周知を図っていく。		
水俣市地域公共交通会議	合資会社君島タク シー 有限会社水俣タク シー 猿郷線	猿郷団地～白浜団 地～水俣駅前	広報誌での利用周知を行っ た。 地域での会合に参加し、乗 合タクシーの現状等の話を 行い、利用者の意見などを 聞いた。	A	C	沿線自治会と連携して、利 用者増加に向けた取り組み を行っていく。広報誌等での 周知を図っていく。		
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型乗合 タクシー(きんぎょ タクシー)の運行 (長洲町内全域及 び荒尾市の特定施 設)	車両を1台増やして、これま で空白だった12台分の便を 新たに運行し、利便性の向 上を図った。 免許返納者無料乗車券の 有効期限を半年間から1年 間に延長し、高齢者の移動 手段を確保した。	A	A	利用者が増加しているた め、引き続き利用実態を把 握しながら、効率的な輸送 サービスを検討していく。 公共交通全体の利用促進を 図るため、公共交通マップ を作成する。		評価の指標には、年間の利 用者数と財政負担の維持・ 抑制が用いられている。 利用者数が顕著に伸びてい ることは、非常に高く評価 できる。
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通株式会 社	津奈木町内全域及 び水俣市内の特定 施設間を運行	・ダイヤ改正(平成28年10月1 日) 午前7時台便の平均利用者数 が1日0.5人と他の便に比べ少 なかった為減便し、アンケート等 で希望が多かった9時台を増便 し改善を図った。 ・乗降場所の追加(平成28年10 月1日) 利用者の多いスーパー等の近 くに、新規乗降場所を一箇所追 加し改善を図った。 ・予約受付期間の延長(平成28 年10月1日) 予約受付センターでの利用受 付け期間を2日前からを、7日 前まで可能とし改善を図った。 ・広報用パンフレットの配布(平 成28年10月1日) つなぎタクシーの利用方法をま とめたパンフレットの全戸配布 (約2,000部)を行い、利用促進 を図った。 ・回数券の発行(平成28年11月 1日) 町内3,000円(300円券11枚綴 り)・町外8,000円(800円券・11 枚綴り)の販売を開始し、利用 促進、利便性の向上を図った。	A	B	・路線バス及び鉄道との結 節(乗継)をより推進し、相互 の利用者数の増加、利便性 の向上を図る。 ・利用方法等についての周 知、情報提供をさらに充実さ せ利用者の増加を図る。 ・住民アンケート等を行い利用 者ニーズの把握を行う。 ・免許自主返納者に対する 優遇措置等を行い、新たな 利用者の掘り起こしを行う。	評価の指標には、公共交通 カバー率と、一日あたりの利 用者数が用いられている。 公共交通カバー率が100%に 上ることは、非常に高く評価 できる。利用者ニーズにか かる検討も行われることか ら、この点も指標化でき ると、より具体的な評価が期待 される。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
天草市公共交通連携協議会	産交バス(株)	①南北循環線 右廻り>本渡バスセンター→本渡港→天草中央総合病院→本渡バスセンター→中央新町→天草市役所前→本渡バスセンター 左廻り>本渡バスセンター→天草市役所前→中央新町→本渡バスセンター→本渡港→天草中央総合病院→本渡バスセンター ②南北循環線短縮 右廻り>本渡バスセンター→中央新町→天草市役所前→本渡バスセンター 左廻り>本渡バスセンター→天草市役所前→中央新町→本渡バスセンター	利用者アンケートを実施し、利用者ニーズ結果を踏まえ、利便性向上を目的とし、ルート延伸及び各停留所の発車時刻の変更(各時間帯の“分”統一)を行った(H28.10.1～)。	A	A	本渡バスセンターを発着する幹線バスや他の公共交通モードとの結節、利用者の増加が見込める近隣の商業施設や医療機関への移動手段として検討していくことで、持続可能な公共交通体系の維持・確保に努める。	評価の指標には、年間利用者数と1便あたりの利用者数が用いられている。これが顕著に伸びていることは非常に高く評価できる。今後、よりきめ細かい利用状況の評価も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・白水ルート(白水水源入口・長陽駅入口経由) 高森駅前～赤水駅前線 (H28.10.1～ H28.10.31)		A	B			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・久木野ルート(JA久木野給油所横・長陽駅入口経由) 高森駅前～赤水駅前線 (H28.10.1～ H28.10.31)		A	B			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・循環ルート(白川・JA久木野給油所横経由) 高森駅前～高森駅前線 (H28.10.1～ H29.3.1)		A	B			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・白水ルート(白水水源入口・長陽駅入口経由) 高森駅前～アーデンホテル阿蘇線 (H28.11.1～ H29.3.31)	地域からの意見等は随時受け付けており、ニーズ把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況に合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、公共交通の確保に努めた。	A	B	・平成28年熊本地震により被災した道路や公共交通の復旧に合わせて、柔軟にルートやダイヤを見直し、より利便性の高い住民の生活公共交通及び観光客の公共交通を確保する。 ・路線バスの更なる利用者増を目標に、見直しの際は他の公共交通も含め総合的な交通網の再編・構築を目指す。	地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・久木野ルート(JA久木野給油所横・八里木経由) 高森駅前～アーデンホテル阿蘇線 (H28.11.1～ H29.3.31)		A	B			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・循環ルート(南阿蘇村役場・JA久木野給油所横経由) 高森駅前～高森駅前線 (H29.4.1～ H29.9.30)		A	B			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・白水ルート(白川駅前・南阿蘇村役場経由) 高森駅前～アーデンホテル阿蘇線 (H29.4.1～ H29.9.30)		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・久木野ルート(あそ望の郷・南阿蘇村役場経由) 高森駅前～アーデンホテル阿蘇線 (H29.4.1～H29.9.30)		A	B			
南阿蘇村公共交通連携協議会	阿蘇観光タクシーくさむらタクシー(共同運行)	・地獄・垂玉線(下田城ふれあい温泉駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運休中 (H28.10.1～H29.9.30)	平成28年熊本地震以降、地獄・垂玉への道路が不通のため運行休止となっている。	-	-	道路の復旧後、乗合タクシーの再開と併せて、観光客や地元住民への周知を図り、利用客数の回復を図る。	一日も早い復旧が望まれる。	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行	(前回の事業評価結果)運行ルート・運行時刻表を見直したり、地域との話し合いによる路線の見直し等に取り組まれていることは、一定の評価が可能である。今後も、利用者の声を反映した施策に取り組んでいきたい。 (反映状況)利用者の声を反映して、制度の拡充を行い、運行ルート・運行時刻表の見直しを行った。	A	B	●利用者の声を反映した制度拡充(H29.4～) ・対象エリアの拡大 ・1人予約での運行可能 ・便数制限の緩和 ・利用料金の一部見直し ・その他、接続先バス停の上屋整備 以上により、利用者数の増を図る。 今後は、新規路線の開設や利用者数の増を目指す。	評価の指標には、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数の4指標が用いられている。 きめ細かい地域検討会・説明会を行い利用者の意見に基づく運行計画を立てている点は非常に高く評価できる。 利用者のニーズとその対応に関してこれらが指標に加わると、よりその系統の具体的評価に繋がるものと期待される。	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 弓立ルート(通学便:戸次)	弓立～戸次の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 判田ルート	安田～判田局前の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 中野ルート	中野～戸次の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	大分シティタクシー株式会社 延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(馬場:往路)	木佐上～馬場の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(馬場:復路)	木佐上～馬場の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行	A	B				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行		A	B			
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 ワーカーズコーポタクシー有限公司 大黒ルート	大黒～佐賀間の運行		A	B			
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江団地線 ①亀川駅～太陽の家～関の江車庫前 ②亀川駅～亀川新川～関の江車庫前	新規	A	B	人口の減少が進む中、輸送人員の確保・維持のため自治会への広報を実施する。	評価の指標には、年間輸送人員数が用いられている。原因に人口減少を挙げていることから、目標設定のあり方について検討が求められる。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【永添線】 中津駅～万田～大貞車庫	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	再編実施計画に基づく市域全体の公共交通網再編を行ったので、幹線との接続性についての周知などに力を入れ、公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～野路	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～大貞車庫	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	再編実施計画に基づく市域全体の公共交通網再編を行ったので、幹線との接続性についての周知などに力を入れ、公共交通の利用促進に努める。	目標の指数には系統毎の輸送人員数が用いられている。目標に対し実績が大きく異なる系統もあり、輸送人員の指標に関して、特に再編の際の目標設定の難しさが伺える。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～中津北高～野路	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	再編実施計画に基づく市域全体の公共交通網再編を行ったので、幹線との接続性についての周知などに力を入れ、公共交通の利用促進に努める。	改善点にかかる周知や利用状況、ニーズへの対応についても指標に加わると、よりその系統の具体的評価に繋がるものと期待される。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～中津北高～大貞車庫	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	再編実施計画に基づく市域全体の公共交通網再編を行ったので、幹線との接続性についての周知などに力を入れ、公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【深株線】 中津駅～イオン～山口	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【海岸中高線】 さ蔭前～鍋島～中津駅	H29年度より事業開始	A	A	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	路線バス事業【田口線】 中津駅～イオン～八面山荘	H29年度より事業開始	A	C	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	コミュニティバス【城井線】 平田診療所～明星ストア～平田診療所	H29年度より事業開始	A	C	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。	目標の指数には系統毎の輸送人員数が用いられている。目標に対し実績が大きく異なる系統もあり、輸送人員の指標に関して、特に新設の際の目標設定の難しさが伺える。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	コミュニティバス【川原口線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	H29年度より事業開始	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努める。	改善点にかかる利用状況とニーズへの対応についても指標に加わると、よりその系統の具体的評価に繋がるものと期待される。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	コミュニティバス【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	H29年度より事業開始	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	コミュニティバス【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	H29年度より事業開始	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努める。	評価の指標には、年間輸送人員数が用いられている。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	コミュニティバス【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	H29年度より事業開始	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努める。		
中津市公共交通会議	耶馬溪交通有限会社	コミュニティバス【樋山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	H29年度より事業開始	A	B	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川～中ノ島～竹田新町～日田の循環コースを運行	住民との意見交換については、随時、アンケート調査を行う中で、運行形態に関する要望など聞き取り、実態把握に努めている。 また、毎年9月に行っている「バスの日イベント」時でも随時意見交換を行っている。 利用者の声や、要望については、アンケート調査で得た情報や、運行データを精査したうえで、検討することとしている。	A	A	目標は達成したが、今後も引続き周知事業と利用者アンケートや意見交換を続け、利用促進を図るとともに、運行事業者と連携し、今後、効果的・効率的な運行を模索していく。		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～城内団地～市役所前～日田の循環コースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～玉川～石井～誠和町～日田の循環コースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Dコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 夜明循環線	日田～玉川～夜明～川下～竹田新町～日田の循環コースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 杷木循環線	日田～玉川～夜明～杷木～川下～竹田新町～日田の循環コースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 杷木線	日田～玉川～夜明～穂坂～杷木のコースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～近原～中村～五馬入口のコースを運行	熊本地震の危険箇所や道路工事による一部通行止め期間が通常運行に戻ったことで、例年並みに利用が回復した。	A	A	目標は達成したが、今後も引続き周知事業と意見交換等を続け、運行事業者と連携し、今後の運行のあり方を模索していく。		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 大野線	日田～沈橋～中川原～大野～座目木のコースを運行		A	A			
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 出野線	日田～高瀬農協前～松金～出野～星弘のコースを運行		A	A			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線		A	A			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大入島線	A	A				
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 弥生地域	A	A				
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 本匠地域	地域での説明会を開催し、事業に対する意見の聴取及び利用促進を行った	A	A	現在策定中の、大分県南部圏地域公共交通再編実施計画により、コミュニティバスと民間事業者との連携を行い、利便性の向上を図る。	評価の指標には、1便あたりの利用者数が用いられている。補助要件に照らして見ると、補助要件に叶った目標を達成する取組みが求められる。路線自体のあり方を含め、抜本的な評価が期待される。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目地域(旧定時定路線)		A	A			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目地域(宇目デマンド線)		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス直川線		A	A			
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバス【城崎線、白岩線、上松線、六ヶ迫線、佐志生線、東神野線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	市内循環線の増便及び路線変更を行ない、利便性の向上を図った。	A	B	地域住民に低調な公共交通の現状を説明することで、的確な住民ニーズを把握するとともに、地域の特性に合った効果的な地域公共交通ネットワーク構築に取り組む。	評価の指標には、年間の輸送人員数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバス利用率	市内循環線の増便及び路線変更を行ない、利便性の向上を図った。また現状ニーズを把握するため、全停留所乗降調査を行った。	A	B	市内循環線は、増便により1便あたりの利用率が減少したが、他路線に比べ安定利用があるため、再度ルート等の見直しを行い、利便性の向上に努める。また他路線についても地域の特性に合った効果的な地域公共交通ネットワークの構築に取り組む。	評価の指標には、1便あたりの利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株) 中央病院～津久見駅線	中央病院～津久見駅線の運行	地区での体験試乗会の実施・地区説明会を実施し、丁寧且つ効果的な周知及び利用者の声をききながら、利用促進に向けて取組んだ。	A	B	引き続き体験試乗会等を実施し、地域の声を聴きながら、利用促進の取組を行う。	評価の指標には、1日平均利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 落の浦～大浜線	落の浦～大浜線の運行	乗合タクシーの乗降調査等を通じ利用者の声を聴きより良い効率的な運行に向け意見収集等を行った。	A	B	乗降調査等を実施する中で、利用者の声を十分に聴き、より効率的な運送サービスを検討していく。	評価の指標には、1日平均利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
津久見市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 路線バス17系統	路線バス17系統の運行	地域の高齢者サロン等に参加し、乗合タクシーも含めた公共交通の利用促進に努めた。またわかりやすい時刻表の作成に努め、全戸に配布を行った。	A	C	路線バスの乗降者の状況を乗降調査等通じて把握し、地域での説明会等の中で、より効果的な情報提供に努め、利用促進に取り組む。	評価の指標には、年間利用者数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線(玉来・竹田営業所)	利用者数のデータ分析及び利用者の要望について、平成29年3月に策定した、公共交通網形成計画時に利用者アンケートを実施し、分析及び実施事業については繁榮している。	A	B	高伏・上町線は、観光地である長湯温泉へ移送する路線であるため、地元観光協会関係機関と連携し、利用促進に努める。	評価の指標には、過去3年間の平均輸送人員が用いられている。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株) 香国タクシー	上野線 上野～健康交流センター花いろ～商工会議所	・地域代表者に対し、利用状況の聞き取りと要望調査を実施。 ・路線バス、市民乗合タクシー路線図を作成し、市内全戸に配布。 ・公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やパスタミナル等にて配布。 ・市の広報媒体を活用して、公共交通の情報発信を実施。 ・公共交通の乗り継ぎをスムーズに行えるように“マイ時刻表”を作成し配布。	A	A	利用者数、負担額ともに目標を達成しているが、引き続き、地域住民の意見を反映しながら、効果的な運行を図る必要がある。	評価の指標には、一便あたりの利用者数と、一人あたりの財政負担額が用いられている。補助要件に照らして見ると、早急に目標を達成する取組みが求められる系統が見受けられる。路線自体のあり方を含め、抜本的な評価が期待される。	
豊後高田市地域公共交通会議		熊野線 田染平野～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	A	利用者数、負担額ともに目標を達成しているが、引き続き、地域住民の意見を反映しながら、効果的な運行を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	高齢者にとって必要な交通手段となっているため、丁寧な周知・広報活動を行い、利用促進に努める。		
豊後高田市地域公共交通会議		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	利用者は少ないが、高齢者にとって必要な交通手段となっている。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		草地線 長添～スーパーあさの～商工会議所		A	B	利用者は少ないが、高齢者にとって必要な交通手段となっている。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		黒土線 小河内～スバランド真玉～スーパーまたま		A	B	高齢者にとって必要な交通手段となっており、1便あたりの利用者数は昨年より増加している。今後も利用実績、地域住民の意見を踏まえながら、利用促進に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株) 香国タクシー	臼野線 山畑～大平公民館～スーパーまたま		A	B	利用者数は少ないが、市中心部へ移動する路線バスに乗り継ぐ便として必要な路線であるため、利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		夷線 夷谷温泉～西夷公民館～10-1構造改善センター	・地域代表者に対し、利用状況の聞き取りと要望調査を実施。 ・路線バス、市民乗合タクシー路線図を作成し、市内全戸に配布。	A	B	買い物、病院及び温泉に行くための交通手段として必要な路線である。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局～サンククリニック	・公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やパターミナル等にて配布。 ・市の広報媒体を活用して、公共交通の情報発信を実施。	A	B	買い物、病院及び温泉に行くための交通手段として必要な路線である。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館～サンククリニック	・公共交通の乗り継ぎをスムーズに行えるように"マイ時刻表"を作成し配布。	A	B	買い物、病院及び温泉に行くための交通手段として必要な路線である。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド型) 呉崎11・12～呉崎地域～商工会議所	・地域代表者に対し、利用状況の聞き取りと要望調査を実施。 ・路線バス、市民乗合タクシー路線図を作成し、市内全戸に配布。 ・公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やパターミナル等にて配布。 ・市の広報媒体を活用して、公共交通の情報発信を実施。	A	B	利用者数は少ないが、利用登録者は増えており、今後の利用率の増が見込まれる。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。	評価の指標には、1便あたりの利用者数と、1人あたりの財政負担額が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
豊後高田市地域公共交通会議		西真玉線(デマンド型) 湯原上～西真玉地域～スーパーまたま	・公共交通の乗り継ぎをスムーズに行えるように"マイ時刻表"を作成し配布。	A	B	利用者数は少ないが、利用登録者、1便あたりの利用者数は昨年増えている。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	八坂線		A	A	現状を維持し、向上(1便当り2人以上)出来る様、事業の周知・利用の促進に努めたい。	評価の指標には、1便あたりの利用者数と収支率が用いられている。 認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	北杵築線		A	A	引き続き1便当り2人以上を維持するため、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	東線	高齢者の身近にいるケアマネージャー等に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	A	現状を維持し、向上(1便当り2人以上)出来る様、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	大内線		A	B	1便当り2人以上となるように、稼働率・利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	(有)日出タクシー	東山香線		A	A	現状を維持し、向上(1便当り2.5人以上)出来る様、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	(有)日出タクシー	上線		A	A	引き続き現状を維持するため、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	山香タクシー(有)	中線		A	B	1便当り2人以上となるように、稼働率・利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	山香タクシー(有)	立石・向野線		A	A	現状を維持し、向上(1便当り2.5人以上)出来る様、事業の周知・利用促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	山香タクシー(有)	山浦線		A	A	現状を維持し、向上(1便当り2.5人以上)出来る様、事業の周知・利用促進に努めたい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	<p><路線バス> (1)麻生(山口経由) (2)麻生 (3)乙女 (4)豊洲 (5)西椎屋(土岩屋) (6)定別当 (7)日の岳 (8)津房</p> <p><コミュニティバス> (9)上麻生 (10)上麻生(南敷田) (11)西馬城 (12)高家・天津 (13)宣籠・釜ノ口 (14)中山・新貝 (15)古川・上ノ原 (16)大内・塔尾 (17)南毛 (18)安心院亀川 (19)長洲・金屋 (20)上内河野</p>	<p>路線バスについては、地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。運行経費は削減されたが、利用者数を伸ばすことには繋がらなかった。</p> <p>コミュニティバスについては、料金の値上げやデマンド交通システムの導入について検討や、デマンド交通システムの導入について協議を行ったが、現状のままとした。</p>	A	B	<p>路線バスとコミュニティバスの両方の利用者数が減少することとなった。これは、路線の再編に伴う変化が影響していると思うが、何もアクションをおこななくても人口減少社会のため利用者は自然と減ってしまう。有効な対策・施策を積極的に行いながら、今後も地域の公共交通を発展させていく。</p>	<p>評価の指標には、運行の態様ごとの年間輸送人員数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。</p>	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	大野竹田バス株式会社	<p><清川町> 通学西小線、清川・市民病院線の運行</p> <p><緒方町> 南部東線、南部西線、上緒方線、小富士線、長谷川線、上緒方・小富士線、長谷川・南部線の運行</p> <p><朝地町> 朝地・市民病院線、北部幹線、鳥屋線、近地・普光寺線の運行</p> <p><大野町> 古殿線、真原線、木浦畑線、岩杉線、沢田線、牧原・広戸線、藤浪線、田中・市民病院線の運行</p> <p><千歳町> 下山・前田線、高柴線、船田線、石田・大高線の運行</p>	<p>利用者の伸び悩んでいる大野町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、大野地域の利用促進につなげた。</p>	A	B	<p>利用者が伸び悩んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。また、大飼地区において、スクールバスとコミュニティバスの混乗型への移行の検討協議を進め、併せて、路線バスや鉄道との接続を充実させる。バスの乗車、乗継等を市ケーブルテレビを活用し周知していく。</p>	<p>評価の指標には、1人あたりの運行コストと年間利用者数が用いられている。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。</p>	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市タクシー協会	<p><三重町> 川辺・向野線、小坂線、山田線、内田線、菅尾線、あいのりタクシーの運行</p> <p><清川町> 通学東小線、あいのりタクシーの運行</p> <p><緒方町> 長谷川線、上緒方・小富士線、長谷川・南部線の運行</p> <p><朝地町> 鳥屋線、近地・普光寺線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南部幹線、田夫時線の運行</p> <p><大野町> 高津原線、田原・戸上線、西寒田線、宇津尾木線の運行</p>	<p>利用者の伸び悩んでいる大野町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、大野地域の利用促進につなげた。</p>	A	B	<p>利用者が伸び悩んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。また、大飼地区において、スクールバスとコミュニティバスの混乗型への移行の検討協議を進め、併せて、路線バスや鉄道との接続を充実させる。バスの乗車、乗継等を市ケーブルテレビを活用し周知していく。</p>	<p>協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース、阿蘇野スクールコース、大津留スクールコース、シャトルバス(大学病院⇄庄内庁舎)	地域ごとの路線図入り時刻表を全戸配布した。網計画策定に伴う現状調査において、利用者や交通事業者からの要望把握を行い、改善に向けた計画づくりを進めている。	B	B	網計画や再編実施計画におけるニーズ調査などを通じて、さらなる利便性向上の取り組みを行う。	評価の指標には、年間輸送人員数が用いられている。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岐部線 [申請番号1]	伊美から上岐部まで(岐部経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25~27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取組を継続実施した。また、路線図と時刻表が一体となった総合時刻を配布したり、広報誌、ホームページなどで市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行い、路線バスをはじめとする公共交通の利用促進に努めた。新たな利用者を獲得するためのモビリティ・マネジメントについては、具体的な方策を実施できていないが、利用者に対しては利用状況の聞き取りと要望調査を行った。	A	A	平成26年より開始した利用助成券を用いた運賃割引制度を引き続き行うとともに、路線周域の住民に制度の周知徹底を図る。また、効率的な運行サービスの提供を目指して、利用傾向の細かな分析を行なう必要がある。	評価の指標には、系統ごとの年間輸送人員数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号2]	国東から竹田津港まで(伊美港経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号3]	国東から国見中まで(伊美経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号4]	伊美から中の迫まで(岐部経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号5]	中の迫から伊美小まで(岐部経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号6]	国東から伊美まで(岐部経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号7]	国東から伊美まで(伊美港経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 赤根線 [申請番号8]	伊美から赤根まで(国見中町経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 西方寺線 [申請番号9]	伊美から西方寺まで(国見中町経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号10]	国東から稲川まで(行入・国中経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号11]	国東から稲川まで(行入経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号12]	国東から行入まで(立野経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 上国崎線 [申請番号13]	国東から上成仏まで(立野経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 上国崎線 [申請番号14]	国東から上成仏まで(国中経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号15]	国東から文珠まで(富来橋経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号16]	国東から文珠まで(国中経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号17]	国東から夫婦石まで(富来橋経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号18]	国東から岩戸寺上まで(国中経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号19]	国東から岩戸寺上まで(富来橋経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 丸小野線 [申請番号20]	国東から丸小野上まで(武蔵経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 朝来線 [申請番号21]	安岐から諸田まで(市民病院経由)		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス株 朝来線 [申請番 号22]	安岐から諸田まで (長瀬経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス株 両子線 [申請番 号23]	安岐から両子寺ま で (市民病院経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス株 両子線 [申請番 号24]	安岐から両子寺ま で (梅園の里経由)		A	A			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	豊岡線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	藤原赤松線 基本 路線		A	B	<p>・3月に実施予定の町内全戸を対象とした要望調査及び事業者調査を基に、運行計画の見直しを行う。</p> <p>・広報媒体等を活用し、定期的な情報発信を行う。</p> <p>・30年度から交付要綱の改正に伴い、交付基準の改正(1往復あたり2人以上)がなされることも踏まえ、利用率の低い路線(金井田・農道・内野線等)については、利用実績とニーズ調査を注視しながら、ニーズにあった路線となるよう積極的に運用改善をおこなっていく。</p>	<p>評価の指標には、運行の態様ごとの1日あたりの利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。</p>	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	藤原一北線 基本 路線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	川崎金井田線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	大神線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	南端農道線	【九州運輸局評価結果】 公共交通の利用促進に取組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き、利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定して頂きたい。	A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	南端県道線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	川崎内野線	【反映状況】 利用者、事業者へのニーズ調査と利用実績を元に、路線変更やバス停の増設等を行い利用者の利便性向上に努めた。	A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	牧の内線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	平原線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	軒の井線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	深江線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	小深江線		A	B			
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	真那井線		A	B			
九重町地域交通協議会	九重町 小平谷線	小平谷～豊後中村 駅～九重町役場の 運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	B	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 寺床線	寺床～豊後中村 駅～九重町役場の 運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 うるが線	うるが～引治駅～ 川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 小園線	猪牟田～九重町 役場～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。	<p>評価の指標には、系統ごとの収支率が用いられている。地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。</p>	
九重町地域交通協議会	九重町 中須上旦 線	中須～九重町役 場～恵良駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 龍門線	野倉～恵良駅～塚 脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
九重町地域交通協議会	九重町 豊後中村線	塚脇～恵良駅～豊後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 鹿伏桐木線	豊後中村駅～鹿伏～豊後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 栗原線	竹の下～引治駅～竹の下の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月運行開始を目標に見直しを行っている。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名:玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、町中の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等)を循環し運行	平成26年10月から地域一体による取組の一環として、民間バス会社と協力・連携し、豊後森駅前のバス停を統一したため、時刻表の見直し・検討を行った。また、広報へ掲載し利用を呼び掛けた。	A	B	今後は可能な限りJR豊後森駅のダイヤ改正に対応し、JRとの連結を円滑にすることで、利用者の利便性の向上及び新規利用者の確保を図りたい。	評価の指標には、年間利用者数が用いられている。利用者の利便性にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
玖珠町地域交通協議会	系統名:小型乗合バス(岩室線) 事業者名:大交タクシー(有)	書曲三～下長野の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。また、民間路線バスの廃止に伴いバス停の新設などを行った。	A	A	関係自治区・利用者の日常の声を適切に反映できるよう、事業者との連携・相談体制を密にするとともに、利用者等への調査を行い、路線の見直しを行う。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(伐株線) 事業者名:玖珠町	唐杉～福祉センターの運行	運行経路の見直しに伴い、関係自治区に説明を行い、関係自治区へ時刻表の配布を行った。	A	B	自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。また、自治区へ改善要望などの調査を行う。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小田線) 事業者名:玖珠町	小田～福祉センターの運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	A	地元からの改善要望は無いものの、利用者の少ないバス停も数が所あることから、利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(山浦線通学便) 事業者名:玖珠町	古園～豊後森駅の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。	評価の指標には、系統ごとの1便あたりの利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
玖珠町地域交通協議会	系統名:玖珠町事業者名:ふれあい福祉バス(山浦線ふれあい便)	古園～福祉センターの運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線通学便) 事業者名:玖珠町	日出生～豊後森駅の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	A	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	尾内～運動公園の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小野原線) 事業者名:玖珠町	小野原～運動公園の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	関係自治区・利用者の日常の声を適切に反映できるよう、利用者等への調査を行い、利便性の向上を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	各世帯・転入者への時刻表、路線図等の配布や市ホームページ等を活用した啓発促進活動を行った。また、各地区長等への説明会や意見交換を行い、ルートやダイヤの見直しを実施したほか、要望のあった地域に新規路線を導入して生活の質の向上と移動手段の確保を図った。	A	B	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要な路線であるため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、引き続き、地域の声や利用者ニーズの把握に努め、必要な見直し等により乗車率の改善と利便性の向上を図っていく。		
延岡市地域公共交通活性化協議会		②鹿川線		A	A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		③二股線		A	A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		④猿渡線		A	A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑤三ヶ村線		A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑥大保下線		A	A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑦下崎・笠下黒原線		A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑧片内・菅原線		A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑩上中尾線		A	A			
延岡市地域公共交通活性化協議会	○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑨下塚線	各世帯・転入者への時刻表、路線図等の配布及び市ホームページ等を活用した啓発促進活動、地域では住民へのヒアリング等を行った。また、一部路線については、沿線住民との意見交換や利用調査等を実施し、ルートの変更や停留所の新設を行い利便性の向上を図った。	A	C	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要な路線であるため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、地域の声や利用者ニーズの把握に努める。特に利用が低迷している路線については、利用者アンケートの実施、要望のある地域への乗入れや主要施設までの延伸により利便性を高める等、対策を検討するとともに、その他の路線についても、引き続き必要な見直し等により乗車率の改善を図っていく。		
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑩市尾内線		A	C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑪三川内線		A	C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑫前期:上三輪・中三輪~平田線 後期:上三輪・貝の畑~岡富線		A	C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑬安井・神戸~レーコン線		A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑭須佐~大武線		A	A			
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑮上赤線	各世帯・転入者への時刻表、路線図の配布や市ホームページ等を活用した啓発促進活動等を行った。また、買い物等での利便性向上を図るため、各路線を道の駅まで延伸を行った。	A	B	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要な路線であるため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、地域の声や利用者ニーズの把握に努め、ルート、ダイヤの見直し等により乗車率の改善を図るとともに、今後、交通の結前点として期待される道の駅を活用した施策の検討を行う。		
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑯下塚線		A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑰瀬口線		A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑱家田線		A	B			

評価の指標には、系統別の乗車率が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱ 〇1系統	②①まちなか循環バス	小学生の期間限定運賃無料化や、賞品が当たるキャンペーンの実施、イベント時における臨時運行等、事業者や協議会等と連携し、各種利用促進事業に取り組んだ。	A	B	高齢者や子どものほか、観光客等にも利便性の高いバスを日指して、事業者等とも連携を図りながら更なる利用促進を図っていく。		
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	8:35から13:10まで 定期路線運行:小久保線	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ、既存ダイヤを見直し(運行時間短縮)、利用者の利便性の向上に努めた。	A	A		評価の指標には、系統ごとの年間利用者数が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	8:15から15:25まで 定期路線運行:後川内線	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ、既存ダイヤの見直し(運行時間短縮)並びに既存ルートの変更を行い、利用者の利便性の向上に努めた。	A	A	今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的に行い、必要に応じた、ルート、ダイヤ等の見直し、検討を行う。 今後も引き続き、町民並びに沿線住民への広報、周知徹底等利用促進への取組を行って行くが、利用者数が伸びない路線については、運行形態を含めて沿線区との協議を行う。		
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	8:28から13:06まで 定期路線運行:湯之元蒲牟田線	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ、既存ダイヤの見直し(運行時間短縮)並びに既存ルートの変更を行い、利用者の利便性の向上に努めた。	A	B			
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	8:29から12:55まで 定期路線運行:常盤台線	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ、既存ダイヤを見直し(運行時間短縮)、利用者の利便性の向上に努めた。	A	C			
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	竹鳩線 (竹鳩公民館～めいりんの湯)	公共交通マップ、公共交通PRパンフレットの配布やバスの乗り方教室を継続して実施した。	A	B	利用者が固定化されているため、新規利用者の増加をめざし、公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、ルート、ダイヤの見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出前講座を行うほか、公共交通マップの見直し、公共交通PRパンフレットの配布するなど公共交通の利用促進を図る。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	老瀬線 (老瀬公民館～めいりんの湯)	公共交通マップ、公共交通PRパンフレットの配布やバスの乗り方教室を継続して実施した。	A	B	利用者が固定化されているため、新規利用者の増加をめざし、公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、ルート、ダイヤの見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出前講座を行うほか、公共交通マップの見直し、公共交通PRパンフレットの配布するなど公共交通の利用促進を図る。	評価の指標には、系統ごとの年間利用者数が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	蚊口浜線 (蚊口浜キャンプ場入口～めいりんの湯)	公共交通マップ、公共交通PRパンフレットの配布やバスの乗り方教室を継続して実施した。	A	B	利用者が固定化されているため、新規利用者の増加をめざし、公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、ルート、ダイヤの見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出前講座を行うほか、公共交通マップの見直し、公共交通PRパンフレットの配布するなど公共交通の利用促進を図る。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	堀の内団地線 (しろはと工房～めいりんの湯)	公共交通マップ、公共交通PRパンフレットの配布やバスの乗り方教室を継続して実施した。	A	B	利用者が固定化されているため、新規利用者の増加をめざし、公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、ルート、ダイヤの見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出前講座を行うほか、公共交通マップの見直し、公共交通PRパンフレットの配布するなど公共交通の利用促進を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-上九瀬線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。	評価の指標には、系統ごとの年間利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-鶴野循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-岡原循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-種畜牧場循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-南ヶ丘線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-環野-千歳線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-運動公園循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-深草循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-大出水循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-三松循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	・新規利用者の開拓へ向け、時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林-上原循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	・今後も利用促進を図っていくが、利用者が落ち込んでいる現状があるため、地元住民の利用実態調査を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 平野・石尾線	西都ショッピングセンター～石尾の運行(専門学校経由あり)	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	B	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。 さらに、バス停の位置を地図上に示すなど、より分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。	評価の指標には、系統ごとの1日あたりの利用者数が用いられている。 OD調査内容も含めた評価を行うと、利用者のニーズにかかる検討も行われ、より具体的な評価が期待される。	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長谷線	西都ショッピングセンター～上長谷の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	A	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。 さらに、バス停の位置を地図上に示すなど、より分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 山田・上沖線	西都ショッピングセンター～上沖の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	B	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。 さらに、バス停の位置を地図上に示すなど、より分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 岩爪線	西都ショッピングセンター～岩爪の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	A	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。 さらに、バス停の位置を地図上に示すなど、より分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長園線	西都ショッピングセンター～長園の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	B	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。 さらに、バス停の位置を地図上に示すなど、より分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長園通学線	西都ショッピングセンター～長園の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	B	児童の利用に左右される路線であるが、一般利用者への情報提供を充実させ、利用促進を図る。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 加勢・小豆野線	小豆野～三財支所入口の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	C	利用者等の意見を聴きながら、定期運行以外の手法も含め、抜本的な見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 岩井谷・並木線	並木～三財支所入口の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	A	路線新設2年目を迎え、利用が定着してきたところであるが、引き続き利用促進活動を継続する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 穂北線	西都ショッピングセンター～尾吐の運行	より利用しやすい路線の設定やダイヤの変更等を検討するため、OD調査とアンケート調査を行った。	A	C	高齢者の利用者減が続いているが、継続的なルート見直しや地道な利用促進活動を継続する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	定期路線運行:尾鈴線 (運行時間7:30~8:50) H28.10~H29.3	利用者要望に応じて、山口整形外科を乗降場に追加し、回数券を発行し利用促進を図った。	A	B		評価の指標には、系統ごとの月平均利用者数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	定期路線運行:通浜線 (運行時間7:30~8:50) H28.10~H29.3	利用者要望に応じて、山口整形外科を乗降場に追加し、回数券を発行し利用促進を図った。	A	B	今後も利用者の利用状況や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。		
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	定期路線運行:尾鈴~通浜線 (運行時間7:30~8:30) H29.4~H29.9	利用促進のため、運行路線の見直しを行った。また、デマンド運行へスムーズに移行できるよう運行時間の見直しも行った。	A	B			
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	オンデマンド運行: 町内全域 (運行時間:8:50~18:00) H28.10~H29.3 (運行時間8:40~18:00) H29.4~H29.9	92か所だった乗降場を8か所増設し、利用しやすい環境づくりを行った。また、回数券を発行することで利用促進を図った。運行時間を見直し利用向上を図った。	A	A	今後も利用者の利用状況や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。		
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日:火・金曜日 ○運行回数:1日 往復3回※デマンド運行	・利用者数の維持、拡大のため、南部系統と併せて、の無料体験期間(市の負担)を設けた。 ・チャシンの全戸配布を行い、利用方法を記載し、外出機会の創出を目的に、周知を行った。	A	A	無料試乗期間の設定といった利用促進策に効果があったように思われる。 今後も利用者の動向に注視し、より実効性のある利用促進策を実施する。	評価の指標には、系統ごとの1日あたりの利用者数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デマンド運行	・利用者数の維持、拡大のため、北東部系統と併せて、の無料体験期間(市の負担)を設けた。 ・チャシンの全戸配布を行い、利用方法を記載し、外出機会の創出を目的に、周知を行った。	A	A	チャシンの配布を行ったり、試乗期間を設定したことが効果があつたように思われる。 今後は包括支援センター等との連携をはかり、周知や利用促進に努める。		
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース(イオンタウン日向・櫛の山)	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	東2コース1(イオンタウン日向水ヶ浦公園・幡浦)	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の1%増を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	東2コース2(イオンタウン日向・幡浦)						
日向市地域公共交通会議	日向市	西1コース(比良町・小原)	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	西2コース(本谷・新財市)	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	南1コース(比良町・向洋台)	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の3%増を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	南2コース(比良町・向洋台)	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	北1コース(花ヶ丘・日向台・亀崎)	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	北2コース(大王谷・梶木)	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日向市地域公共交通会議	日向市	美々津日向市駅線	廃止となった路線バスの年間利用者数の現状維持を目標とした。	A	B	運行開始から徐々に利用者は増加しているが、今後も周知啓発活動を実施し、利用促進を図る。	評価の指標には、系統ごとの年間利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
日向市地域公共交通会議	日向市	田野羽坂線	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の15%増を目標とした。	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、時刻表の配付を行い利用促進を図った。		
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷越表線	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の3%増を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	福瀬小野田線	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の2%増を目標とした。	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。		
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷線	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、時刻表の配付を行い利用促進を図った。		
日向市地域公共交通会議	日向市	鶴野内迫野内八重原線	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、時刻表の配付を行い利用促進を図った。		
日向市地域公共交通会議	日向市	寺迫庭田線	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の30%増を目標とした。	B	B	人口減少が進む中山間地であるが、区の総会等における説明や広報等によるPRを通じて、利用促進に取り組んでいく。また、減少数が著しいことからアンケート調査を実施し、具体的な解決策を区長と検討した。		
日向市地域公共交通会議	日向市	飯谷田の原線	前回事業評価を受け、前々年の年間利用者の現状維持を目標とした。	B	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、時刻表の配付を行い利用促進を図った。		
日向市地域公共交通会議	日向市	鵜毛粕木線	前回事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした。	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、時刻表の配付を行い利用促進を図った。		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	①牧山線-牧山・加草・須賀崎	実証運行の結果を基に住民座談会やアンケート調査などを行い、各路線の修正を行い運行した。	A	A	各路線において評価を行い、運行内容の変更を行い運行する。また、各路線とも利用の仕方が分からない町民向けに乗り方教室の開催等を行い利用促進につなげる。その他にも回数券制度の導入などを行い、町民が利用しやすい取組みを行う。		評価の指標には、系統ごとの1便あたりの利用者数と収支率が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	②牧山線-谷の山コース		A	B			
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	③竹名・中村線-竹名・中村コース		A	B			
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	④竹名・中村線-中村コース		A	A			
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑤竹名・中村線-大迫・竹名コース		A	B			
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑥中山・五十鈴線		A	B			
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑦本町巡回線		A	B			
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑧三ヶ瀬線-町部行きコース		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	谷山地域 あいばすの運行	・運行時間別等の利用者数を分析の上、運行計画の見直しの考え方を整理することとしている。 ・運行経路周辺の町内会等を通じて、運行ルートやダイヤ、誰でも利用可能なこと等についての周知広報を行った。	A	B	・地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのため、高齢者以外の利用も可能なことなど、わかりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。	評価の指標には、路線別の1日あたりの利用者数が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	喜入地域 あいばすの運行	・運行時間別等の利用者数を分析の上、運行計画の見直しの考え方を整理することとしている。 ・市ホームページ等により、引き続き運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 ・地域において、あいばす利用に関するアンケート調査を実施した。	A	B	・地域の利用者の意見や要望を聞きながら、今後も利便性の高い運行計画づくりに努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのため、わかりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北西ルート(市成出張所～歌丸～輝北総合支所)	平成28年度にルートやダイヤの見直しを行っており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	A		評価の指標には、系統ごとの1便あたりの利用者数が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北東ルート(有村三文字～平房～輝北総合支所)	平成28年度にルートやダイヤの見直しを行っており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	A	・地域住民との意見交換や聞き取り調査等を行い、ニーズに応じた見直しを引き続き行っていく。必要に応じて新規ルートの検討も行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北中央ルート(輝北総合福祉センター～百引～輝北総合福祉センター)	平成28年度にルートやダイヤの見直しを行っており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	A	・市が行う市民講座や体操教室など新たな目的での利用促進が出来ないか、関係部署と連携し、新規利用者の開拓に努める。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北堂平ルート(荒平橋～百引～輝北総合福祉センター)	平成28年度にルートやダイヤの見直しを行っており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	A			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	吾平東ルート(吾平総合支所～湯遊ランド永野牧～吾平総合支所)	具体的な運行見直しの検討には至っていない。	A	B	・利用者が減少傾向にあるため、乗降調査や聞き取り調査等を行い、利用ニーズを把握し、全体的な見直しを行う。利用者が見込めない区間は廃止を検討するなど運行の効率化に努める。 ・市が行う市民講座や体操教室など新たな目的での利用促進が出来ないか、関係部署と連携し、新規利用者の開拓に努める。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	吾平西ルート(吾平総合支所～湯遊ランド坂元～吾平総合支所)	具体的な運行見直しの検討には至っていない。	A	B			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	市街地巡回バス(鹿屋～西原寿～鹿屋)	要望等を基にルートの一部見直しを行い、利便性向上に努めた。	A	A	利用ニーズに応じた見直し等を引き続き行っていく。運行要望の多い区域の新規ルートの検討を行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	串良馬掛ルート(新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	平成28年4月より本格運行を開始しており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	B	・地域住民との意見交換や聞き取り調査等を行い、ニーズに応じた見直しを引き続き行っていく。 ・市が行う市民講座や体操教室など新たな目的での利用促進が出来ないか、関係部署と連携し、新規利用者の開拓に努める。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	串良新堀ルート(新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	平成28年4月より本格運行を開始しており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	B			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	串良市街地・堅田ルート(串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉)	平成28年4月より本格運行を開始しており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	A	・地域住民との意見交換や聞き取り調査等を行い、ニーズに応じた見直しを引き続き行っていく。 ・市が行う市民講座や体操教室など新たな目的での利用促進が出来ないか、関係部署と連携し、新規利用者の開拓に努める。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	串良市街地ルート(串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)	平成28年4月より本格運行を開始しており、平成29年度は具体的な見直しは行っていない。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	多田・桑原城系統丸内～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、民生委員への周知を図った。	A	A	今後とも利用者への情報提供を充実させる。	評価の指標には、系統ごとの1便あたりの利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	西目・遠見ヶ岡・倉津系統落～市民病院間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、民生委員への周知を図った。	A	B	利用者ニーズを把握しながら市広報はもちろんのこと、様々な広報媒体も使い、利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー(28年10月～29年3月) 阿久根タクシー(29年4月～9月)	脇本北部系統八郷～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、民生委員への周知を図った。	A	B	利用者ニーズを把握しながら市広報はもちろんのこと、様々な広報媒体も使い、利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー(28年10月～29年3月) 阿久根タクシー(29年4月～9月)	脇本西部系統深田～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、民生委員への周知を図った。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報はもちろんのこと、様々な広報媒体も使い、利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー(28年10月～29年3月) 阿久根タクシー(29年4月～9月)	脇本東部(瀬の浦)系統大洲川～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、民生委員への周知を図った。	A	A	今後とも利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー(28年10月～29年3月) 阿久根タクシー(29年4月～9月)	脇本東部(桐野)系統桐野上～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、民生委員への周知を図った。	A	A	今後とも利用者への情報提供を充実させる。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(柳原線)	伊関～市内～西之表港	・寄付等により4箇所の停留所に新たなベンチを設置した。 ・市のイベント(市民体育祭、鉄砲祭り)が行われる日曜日(従来は運休)に特別運行を行った。	A	B	・利用者は導入開始時(H24年度)からH27年度にかけて毎年増加傾向にあったが、H28年度及びH29年度は、頭打ちとなっている。一方、高齢化により自力での乗車が難しい利用者に対する個別的な対応等が増えている。 費用対効果面では、運賃収入や国庫補助金減等により増加する自治体負担の適正化に向けて、本市の地域公共交通体系のあるべき姿の再検討を行う。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(立山線)	立山～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(古田線)	中割～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(国上線)	国上～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(住吉線)	住吉～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	種子島・屋久島交通(株)(市街地循環バス)	西之表港～志布志・松島～西之表港	・寄付等により4箇所の停留所に新たなベンチを設置した。 ・バス停の新設及び運行ルート変更等による検証を行った。	A	B	評価の指標には、運行の態様ごとの年間利用者数、収支率、1運行あたりの利用者数の3指標が用いられている。 協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。		
垂水市地域公共交通活性化協議会	(株)協和交通	事前予約型乗合タクシー運行(市木地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。	A	A		市木地区での運行区域の人口に見合った利用実績を得ているが、今後も利用者数の利用推進を図り、満足度向上に努める。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	(有)オダ	事前予約型乗合タクシー運行(大野地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。	A	A		大野地区での運行区域の人口に見合った利用実績を得ているが、今後も利用者数の利用推進を図り、満足度向上に努める。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) *内ノ野ルート	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。	A	A		利用者数の更なる増加を図るため、引き続き乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) *小谷ルート	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。	A	A	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	祁答院～川内駅 (市内横断シャトル バス)	前回の評価を踏まえ、地域 住民の声を取り入れるべく 地域検討会を開催し、利便 性向上のため運行ダイヤの 変更を行った。	A	B	昨年度より利用者数が減と なり、目標人数には達しな かったが、今回行ったダイヤ 変更の影響を注視したい。	評価の指標には、路線別の 1便あたりの利用者数が用 いられている。 利用者ニーズの反映にかか る検討も行われることから、 この点も指標化できると、よ り具体的な評価が期待され る。	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	鹿児島交通(株)	いむた清風～川内 駅 (市内横断シャトル バス)	前回の評価を踏まえ、地域 住民の声を取り入れるべく 地域検討会を開催し、利便 性向上のため運行ダイヤの 変更を行った。	A	B	また、引き続き利用啓発に 努めるとともに、沿線の人口 減少率も加味した適切な量 的目標の設定に努める。		
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (西回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ、地域 住民の声を取り入れるべく 地域検討会を開催し、利便 性向上のため運行ダイヤの 変更を行った。	A	B			
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (東回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ、地域 住民の声を取り入れるべく 地域検討会を開催し、利便 性向上のため運行ダイヤの 変更を行った。	A	B	・城上・吉川循環線は、昨年 度の利用人数を上回った が、湯田・西方循環線ととも に目標には届かなかった。 ・湯田・西方循環線について は、今回行った新規バス停 設置の影響を注視し、利用 啓発に努めている。		
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (西回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ、地域 住民の声を取り入れるべく 地域検討会を開催し、利便 性向上のため運行ダイヤの 変更を行った。	A	B	また、沿線の減少率を加味 し、適切な量的目標の設定 に努める。		
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (東回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ、地域 住民の声を取り入れるべく 地域検討会を開催し、利便 性向上のため運行ダイヤの 変更を行った。	A	B			
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港 ターミナル(国道回 り) (川内港シャトルバ ス)	利便性向上を図るため、他 の交通機関(高速船、新幹 線)との接続を見直し、運行 ダイヤの見直しを行った。	A	B	・国道回りについては、昨年 度の利用人数を上回った が、県道回りとともに目標 には届かなかった。 今後も他の交通機関との接 続を考慮し、利便性の向上 を図って新たな利用者(観光 客等)の増はもちろん、地域 住民を取り組むべく更なる 利用啓発に努める。また、適 切な量的目標の設定に努め る。		
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港 ターミナル(県道回 り) (川内港シャトルバ ス)	利便性向上を図るため、他 の交通機関(高速船、新幹 線)との接続を見直し、運行 ダイヤの見直しを行った。	A	B			
日置市地域公共 交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タク シー	上神殿線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利 用方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中 心とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共 交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タク シー	中川・郡線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利 用方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中 心とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共 交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タク シー	竹ノ山・土橋線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利 用方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中 心とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共 交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タク シー	上・下方限線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利 用方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中 心とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共 交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タク シー	恋之原線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利 用方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中 心とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	久木野々線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利用 方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。	評価の指標には、路線別の 運行率が用いられている。 利用者のニーズにかかる検 討も行われることから、この 点も指標化できると、より具 体的な評価が期待される。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タク シー	平鹿倉・湯之元線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利用 方法の周知	A	B	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タク シー	日添・田之尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利用 方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タク シー	和田線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利用 方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タク シー	藤元・野首線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タク シー	坊野・田尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・高齢者クラブ総会時での利用 方法の周知	A	A	今後も広報誌・チラシ等の配 布とともに、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日新線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・民生委員・児童委員協議 会定例会での利用方法の周 知	A	C	今後も広報誌等による啓発 を図り、更なる利用増に努 める。また、地域住民が集ま る機会に合わせて、意見等 を聴取し、ニーズを反映した 便利で効率的な乗合タク シーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日置線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・民生委員・児童委員協議 会定例会での利用方法の周 知	A	B	今後も広報誌等による啓発 を図り、更なる利用増に努 める。また、地域住民が集ま る機会に合わせて、意見等 を聴取し、ニーズを反映した 便利で効率的な乗合タク シーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	吉利線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・民生委員・児童委員協議 会定例会での利用方法の周 知	A	B	今後も広報誌等による啓発 を図り、更なる利用増に努 める。また、地域住民が集ま る機会に合わせて、意見等 を聴取し、ニーズを反映した 便利で効率的な乗合タク シーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	扇尾線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・民生委員・児童委員協議 会定例会での利用方法の周 知	A	B	今後も広報誌等による啓発 を図り、更なる利用増に努 める。また、地域住民が集ま る機会に合わせて、意見等 を聴取し、ニーズを反映した 便利で効率的な乗合タク シーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	住吉線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世 帯配布 ・民生委員・児童委員協議 会定例会での利用方法の周 知	A	B	今後も広報誌等による啓発 を図り、更なる利用増に努 める。また、地域住民が集ま る機会に合わせて、意見等 を聴取し、ニーズを反映した 便利で効率的な乗合タク シーを目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	溝辺地区におけるコミュニティバスの運行	①利用者ニーズを把握し、路線の再編を行った。 ② 路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。 ③ 公共交通マップをリニューアルし、配布を行った。 ④ 市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の利用促進に関する啓発を行った。			■平成27年度に策定した霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメント強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②交通結節点におけるわかりやすい案内表示や情報提供等	評価の指標には、路線ごとの1便あたりの乗車人数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
		(1) 竹子三縄線		A	B			
		(2) 麓線		A	B			
		(3) 空港崎森線		A	B			
		(4) 竹子・有川・空港線		A	B			
	(5) 崎森・麓・空港線	A		A				
鹿児島交通(株)	牧園地区におけるコミュニティバスの運行							
		(1) 霧島牧園線	A	A				
霧島市地域公共交通会議	三州自動車(株)	福山地区におけるコミュニティバスの運行	①利用者ニーズを把握し、路線の再編を行った。 ② 路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。 ③ 公共交通マップをリニューアルし、配布を行った。 ④ 市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の利用促進に関する啓発を行った。			■平成27年度に策定した霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメント強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②交通結節点におけるわかりやすい案内表示や情報提供等	評価の指標には、年間利用者数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
		(1) 福沢線		A	B			
		(2) 福地・池之谷線		A	B			
		(3) 福山線		A	A			
		(4) 比曾木野線		A	B			
		(5) 佳例川線		A	B			
		(6) 福地線(スクール対応)		A	A			
	(7) 福沢線(スクール対応)	A	B					
	AT交通(株)	霧島地区永水地域におけるデマンド交通の運行	デマンド交通対象地域に向き、制度説明を行った。	A	B			
	(有)中村タクシー	溝辺地区地域におけるデマンド交通の運行		A	A			
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー川上線の運行	前年比100%以上	A	C	利用者が減少傾向にある原因を把握し、利用のさらなる実態の把握に努め、引き続き路線のPRを行う。 平成30年度に交通網形成計画の策定を予定しており、市民の移動ニーズを把握し、交通網の再編に活かしたい。	評価の指標には、路線別の年間輸送人員数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー大里線の運行	前年比100%以上	A	C			
いちき串木野市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	いきいきバス冠岳線の運行	前年比100%以上	A	B			
いちき串木野市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	いきいきバス芹ヶ野線(デマンド型)の運行	前年比150%以上	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	坊津から加世田市街地の運行(中山線)	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	適正な目標設定に努めたい。	評価の指標には、路線別の年間利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
南さつま市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	池辺から加世田市街地の運行(高橋線)	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	C			
南さつま市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	大木場から加世田市街地の運行(大木場線)	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	A	住民座談会を開催するなど、地域の声を聞くとともに、より一層の広報活動に取り組みたい。		
南さつま市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	池辺門前からゆうらくの運行(池辺線)	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	A			
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (拠点間バス)	謡娃～霜出～川辺の運行	市内高校、イベントチラシへの時刻表掲載で広報周知を実施。 自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (拠点間バス)	青戸小南～霜出～川辺の運行	市内高校、イベントチラシへの時刻表掲載で広報周知を実施。 自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (拠点間バス)	番所鼻公園～霜出～知覧の運行	市内高校、イベントチラシへの時刻表掲載で広報周知を実施。 自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	瀬戸山～下里～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	屋敷平～本別府大久保～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	田の頭～勝目西～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	君野西～大山入口～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	打木谷～上之口～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	市街地周回線 文化会館～病院前～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	栢川三叉路～市役所～保健センターの運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) (生活交通バス)	加治佐～保健センター～知覧の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	市崎野～横手町～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、減便等運行計画の見直しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	滝の前～野崎公民館～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。	評価の指標には、系統ごとの1便あたりの平均乗車人数を用いており、利用者数の最も多かった平成23年度の数値を基準としている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	山添～平山六丁～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	西の原～高田下～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	火之河原～中服良～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	松尾城橋～野間里～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	荒田～越原～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、減便等運行計画の見直しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	川原～宮～文化会館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	木床～上郡上～保健センターの運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	寺園～河上～保健センターの運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	小金園～打越～保健センターの運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	峯苔～平久保～知覧の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	二つ谷～堤之原～知覧の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、減便等運行計画の見直しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	高星～林川～知覧の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	高古～中福良～知覧の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、減便等運行計画の見直しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	大隣南～松久保～霜上げんき館の運行	自治会長・障がい者向けのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	竹迫北～立山～霜 出げんき館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 (生活交通バス)	中渡瀬～上木原～ 松山の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	浦芝原～麓南～額 姪図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	佃～奥園～額姪 図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	矢越～御領山下～ 額姪図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	蓮子～水成川～額 姪図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	青戸農村公園～福 留～額姪図書館の 運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	加治佐～小原～額 姪図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	曲谷～赤崎～額姪 図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	種子尾～一民～額 姪図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	永谷～粟ヶ窪～ア グリ温泉の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	加知佐～耳原～別 府温泉の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 (生活交通バス)	青戸農村公園～石 垣～別府温泉の運 行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光 (生活交通バス)	長崎～前原～額姪 図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光 (生活交通バス)	永谷～春向～額姪 図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光 (生活交通バス)	下出～木之元～頤 娃図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光 (生活交通バス)	熊ヶ谷～栢山～頤 娃図書館の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光 (生活交通バス)	上淵～雪丸～アグ リ温泉の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光 (生活交通バス)	曲谷～新牧～アグ リ温泉の運行	自治会長・障がい者向けの アンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、 老人会、市内高校等で周知 広報を行う。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)小園タクシー 川西	曾木バス停～川西 地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のお知ら せや丁寧かつ効果的な周知 策として市内公共交通時刻 表を全戸配布した。	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。さ らに、地域性等を考慮した 個別的な時刻表の配布を検 討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)小園タクシー 西山	針持バス停～西山 地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のお知ら せやより利用しやすくする ため市内公共交通時刻表を 全戸配布した。	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。さ らに、地域性等を考慮した 個別的な時刻表の配布を検 討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)小園タクシー 高塚	針持バス停～高塚 地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のお知ら せやより利用しやすくする ため市内公共交通時刻表を 全戸配布した。	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。さ らに、地域性等を考慮した 個別的な時刻表の配布を検 討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)小園タクシー 田原	針持バス停～田原 地区の運行	「現在の利用状況を維持す る。」であり、実施された。	A	A	現在の利用状況を維持す る。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)小園タクシー 荒田	菱刈中心地～荒田 地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のお知ら せやより利用しやすくする ため市内公共交通時刻表を 全戸配布した。また、ダイ ヤの増便を行い利便性の向 上を図った。	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。さ らに、地域性等を考慮した 個別的な時刻表の配布を検 討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)小園タクシー 永池楠原	菱刈中心地～永池 楠原地区の運行	「現在の利用状況を維持す る。」であり、実施された。ま た、ダイヤの増便を行い利 便性の向上と丁寧かつ効果 的な周知策として市内公共 交通時刻表を全戸配布し た。	A	A	現在の利用状況を維持す る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(南)下小箇タクシー 野池小川添	菱刈中心地～野池 小川添地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせやより利用しやすくするため市内公共交通時刻表を全戸配布した。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上を図った。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。	評価の指標には、路線別の平均乗車人数を用いており、「乗合率」の表現で2.0人を目標に設定している。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(南)下小箇タクシー 田中重留	菱刈中心地～田中 重留地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせやより利用しやすくするため市内公共交通時刻表を全戸配布した。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上を図った。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(南)下小箇タクシー 市山花北	菱刈中心地～市山 花北地区の運行	「現在の利用状況を維持する。」であり、実施された。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上と丁寧かつ効果的な周知策として市内公共交通時刻表を全戸配布した。	A	A	現在の利用状況を維持する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)湯 之尾	菱刈中心地～湯之 尾地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせや丁寧かつ効果的な周知策として市内公共交通時刻表を全戸配布した。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上を図った。	A	B	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)山 田徳辺	菱刈中心地～山田 徳辺地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせやより利用しやすくするため市内公共交通時刻表を全戸配布した。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上を図った。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)五 色徳辺下	菱刈中心地～五色 徳辺下地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせや丁寧かつ効果的な周知策として市内公共交通時刻表を全戸配布した。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上を図った。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)下 手	菱刈中心地～下手 地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせやより利用しやすくするため市内公共交通時刻表を全戸配布した。また、ダイヤの増便を行い利便性の向上を図った。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)布計	山野中心地～布計地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせや丁寧かつ効果的な周知策として市内公共交通時刻表を全戸配布した。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)小川内	山野中心地～小川内地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせやより利用しやすくするため市内公共交通時刻表を全戸配布した。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)平出水	山野中心地～平出水地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のお知らせやより利用しやすくするため市内公共交通時刻表を全戸配布した。	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。さらに、地域性等を考慮した個別的な時刻表の配布を検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)青木循環線	大口中心地～青木篠原地区循環運行	経路の変更と丁寧かつ効果的な周知策として市内公共交通時刻表を全戸配布し、利便性の向上に努めた。結果、対象地域の人口は横ばいながら、対前年比の利用者は増加した。	A	A	市内公共交通の利用方法を福祉関係者を中心にPR。さらに乗り方教室等を計画し、利用促進を図る。	評価の指標には、年間利用者数が用いられている。認知度にかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野酒店前～鶴田支所の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	鶴田線(乗合タクシー) 上場公民館前～鶴田支所の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 株の谷入り口～さつまクリニック前の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。	評価の指標には、系統ごとの1便あたりの利用者数が用いられている。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)神園タクシー	登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)神園タクシー	柵野・紫尾線 柵野～旧宮之城駅の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	A	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	さつますこやか線 金山コース(コミュニティバス) さつまクリニック前～さつまクリニック前の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。	評価の指標には、コミュニティバス全体の年間利用者数が用いられている。 協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることが期待される。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	さつますこやか線 段・薬師コース(コミュニティバス) さつまクリニック前～さつまクリニック前の運行	①町HPに運行マップ等を掲載し周知を図るとともに、運行事業者への聞き取り調査等により利用者の運行ニーズ等の分析を行った。	A	B	現在策定中の交通網形成計画を基にした新しい運行体系を平成30年10月に運用開始する。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 平山線	浜田～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券の申請受付協力を依頼した。また、広報紙への折込み、河内温泉・公立病院への掲示など、情報提供を行った。	A	C	車を運転されなくなった方や交通弱者へのバスの利用方法周知を重点に、関係各課に協力を求めるなど、町民がより気軽に利用しやすいような運送サービス、情報提供を行う。	評価の指標には、路線別の1日あたりの利用者数が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 荃永線	Aコープ前～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券の申請受付協力を依頼した。また、広報紙への折込み、河内温泉・公立病院への掲示など、情報提供を行った。	A	B	車を運転されなくなった方や交通弱者へのバスの利用方法周知を重点に、関係各課に協力を求めるなど、町民がより気軽に利用しやすいような運送サービス、情報提供を行う。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 西之線	役場～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券の申請受付協力を依頼した。また、広報紙への折込み、河内温泉・公立病院への掲示など、情報提供を行った。	A	B	車を運転されなくなった方や交通弱者へのバスの利用方法周知を重点に、関係各課に協力を求めるなど、町民がより気軽に利用しやすいような運送サービス、情報提供を行う。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 島間線	牛野～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券の申請受付協力を依頼した。また、広報紙への折込み、河内温泉・公立病院への掲示など、情報提供を行った。	A	B	車を運転されなくなった方や交通弱者へのバスの利用方法周知を重点に、関係各課に協力を求めるなど、町民がより気軽に利用しやすいような運送サービス、情報提供を行う。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(空港線)	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	一日乗車券の販売や夏休み特別料金、乗継割引サービスの導入。	A	B	沖永良部空港発着の定期航空便と運行ダイヤが合っていないことから、航空便への乗継に配慮したダイヤの検討。	評価の指標には、路線別の平均乗車密度が用いられている。 補助要件に照らして見ると、補助要件に叶った目標を達成する取組みが求められる系統が見受けられる。路線自体のあり方を含め、抜本的な評価が期待される。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(知名・国頭線)	知名～国頭間の路線バスの運行	一日乗車券の販売や夏休み特別料金、乗継割引サービスの導入。	A	B	空港線との統合も含めた路線の見直しについて検討。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(永嶺線)	知名～永嶺～和泊間の路線バスの運行	一日乗車券の販売や夏休み特別料金、乗継割引サービスの導入。	A	A	利用者の移動状況や利用目的を調査し、路線の統廃合も含めた見直しを検討。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(後蘭線)	知名～後蘭～和泊間の路線バスの運行	一日乗車券の販売や夏休み特別料金、乗継割引サービスの導入。	A	A	利用者の移動状況や利用目的を調査し、路線の統廃合も含めた見直しを検討。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(ガジマル線)	知名～下平川～和泊間の路線バスの運行	一日乗車券の販売や夏休み特別料金、乗継割引サービスの導入。	A	C	路線の統廃合も含めた見直しについて検討。		
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	辺塚～岸良～内之浦市街地	-	A	B		評価の指標には、全体の年間利用者数と、系統ごとの1便あたりの平均利用者数が用いられている。 利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。	
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	海蔵～内之浦市街地	-	A	C	減少している利用者の増加を目的として、広報紙・ポスター等での事業の周知を行う。また、公共交通空白地域や空白時間を可能な限り解消することを目的として、運行エリアの拡大や運行方法の改善を行い、地域内公共交通体制の見直しに取り組む。		
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	上北～内之浦市街地	-	A	C			
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	津代～内之浦市街地	-	A	C			
肝付町地域公共交通会議	有限会社 鶴丸タクシー 有限会社 立石タクシー	岸良～高山	-	A	B			

